

2

加えて採用した場合と三つある。変更を加えた場合は若干の国際四桁分類項を併合した場合もあり、又、逆に細分した場合もある。

この外、国際分類では四桁の細分類項のない場合に日本で特に四桁の細分類項目を設けた場合もある。これらの関係を一表で同時に表わすため本巻では表題の欄に三欄を設け下記のようにした。

第一欄目……三桁基本分類番号

第二欄目……日本四桁分類番号

第三欄目……国際四桁分類番号

第四欄……これは国際四桁分類項目を日本分類項目で更に二つ又はそれ以上に細分した時のみ設けてこの欄に日本の四桁分類番号を記載することにした。この場合は第二欄は当然空白として残した。云い換えれば第二欄を第四欄に移したことになる。

なぜかようにしたかと云えば、もし上記の場合に第二欄に日本四桁分類番号を記載すると国際四桁分類との関係を明確に表わし得ないからである。

しかして三桁分類項の番号及び表題は国際、日本に共通のものであるから共にゴシック体を使用した。四桁細分類項は日本で採用したもののみにつき番号、表題共ゴシック体で表示し、国際分類だけにあるものについては番号はイタリック体、表題は普通活字を使つた。かようにすれば一見して日本で用いる分類が明らかにされるわけである。

以下例をあげて説明しよう。但し各項目の内容として含まれる疾患はここには省く。

例 示 :

1)	三桁 基本分類	日本 四桁分類	国際 四桁分類	
	290			悪性貧血及びその他の高色性貧血
			290.0	悪性貧血
			290.1	脊髄の亜急性複合変性
			290.2	その他の高色性貧血

上記のような場合は、国際分類では四桁の細分類項が三つあるが、日本分類ではそれを採用せず 290 の三桁分類項のみ採つたことを示す。しかして、290.0, 290.1, 290.2 の内容はそれぞれの表題の下に列記してあるので知ることが出来る。また日本の場合の 290 がその全部を含むことはいうまでもない。

ロ) 三桁 日本 国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

三桁	日本	国際	
基本分類	四桁分類	四桁分類	
420			動脈硬化性心臓疾患
420.0	420.0		動脈硬化性心臓疾患と記載されたもの
420.1	420.1		冠状動脈疾患の記載のある心臓疾患
420.2	420.2		冠状動脈疾患の記載のない狭心症

上記のような場合は、日本分類でも国際分類と同様の四桁細分類項を採用したことを示す。

ハ) 三桁 日本 国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

三桁	日本	国際	
基本分類	四桁分類	四桁分類	
523			珪酸及び珪酸塩による肺塵症
523.a	523.0		珪 肺 症
523.b			そ の 他
		523.1	炭 肺 症
		523.2	石 綿 症
		523.3	そ の 他

上記のような場合は、日本分類では .a, .b の二細分類項に分れるのであるが、国際分類では元来四項であり、日本分類では 523.a と国際分類 523.0 は内容が同じであるが、523.b は国際四桁分類項の 523.1, 523.2, 523.3 を併合したことを示す。分類各項の内容は、それぞれ該当の箇所に記載されている。

ニ) 三桁 日本 国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

三桁	日本	国際	
基本分類	四桁分類	四桁分類	
644			その他の妊娠時出血
644.a			妊娠時の早期胎盤剝離
644.b			そ の 他

上記のような場合は、国際分類には四桁細分類項はないが、日本分類に .a, .b の細分類項を設けたことを示す。

4

ホ)	三桁 基本分類	国際 四桁分類	日本 四桁分類	
	650			敗血症の記載のない流産
		650.0	650.a	自然又は不詳の流産
		650.1		医学的又は法律的適応による流産
			650.b	医学的適応による人工流産
			650.c	法律的適応による人工流産

上記の場合には国際分類の 650.0 と日本分類の 650.a とは同じ内容であるが、国際四桁細分類項の 650.1 は日本四桁分類では 650.b と 650.c に分たれていることを示す。この場合、日本四桁分類が国際四桁分類の右側に移された点に注意されたい。しかして 650.b 及び 650.c の内容はそれぞれ各該当の処に記載してある。

以上のような形式を用いたので、国際分類項と日本分類項の内容をそれぞれの立場から明らかにすることが出来たばかりでなく、同時に本巻においてはじめて三桁、四桁の両項目を通した国際分類の全貌を知ることが出来るわけである。

なお、XVII「不慮の事故、中毒及び暴力」の内容例示については、外因(E符号)の分類項は国際分類に四桁細分類項はないので、E符号の箇所では、第一欄に三桁基本分類の番号を掲げるにとどめ、日本で或分類項(不慮の中毒 E870—E895 及び高温及び低温 E931, E932)について、.a「職業性と認められるもの」、.b「その他」の四桁細分類項を特に設けた箇所にかぎり、第二欄を設けてこれを示した。

又、傷害の性質(N符号)の分類項については、国際分類に四桁細分類項のあるもののみについて第二欄を設けた(N980—N999)。

製表符号について

厚生大臣官房統計調査部においては機械集計を行うため分類各項に対し数字で表わした製表符号を与えることになっている。けだし、日本で特に採用した四桁細分類項の四桁目に附した a, b, c 等は製表上これを数字化しなければならないからである。

この符号は、上記の a, b, c 等の場合と、下記の特種部内調査分類項を除く以外はすべて国際四桁細分類項の番号と一致している。ただ、製表符号には国際四桁分類番号のピリオッドを除いただけの相違である。

以上の製表符号については下記の例示のごとく頁の右欄にこれを掲げることにした。この欄は主として死因符号事務係員の便覧のために作られたものである。

なお、部内調査というのは、我国で公表する統計表には特に掲げないが、若干の事項について我国の特種事情に照し、その発生数を知っておく必要から統計調査部内で暫定的に部内限りの措置として集計しようという項目をいう。

例えば、現在では「細菌性赤痢」の中から「疫痢」という、国際分類でも、又、我国の公表統計表でも項目となっていない死因を特に細分類しているが、かようなものに対しては、それぞれ特別に符号を与えなければならないので、これらに対して製表符号だけが特に設けられたのである。この場合には左欄の国際分類及び日本分類には番号がなく右欄にだけ番号があるから暫定的の部内調査であることがわかる。

例 示 :

三 桁 日 本 国 際
基本分類 四桁分類 四桁分類

045

細菌性赤痢

045.0 フレクスナー・ボイド群

045.1 シュミツ赤痢

045.2 志賀赤痢

045.3 ゾンネ赤痢

045.4 その他及び非特殊菌

★疫 痢

★その他及び非特殊菌(疫痢を除く)

製表
符号

0450

0451

0452

0453

0454

0455

〔註〕 ★印は我国の事情により特に部内限りの製表符号を設けた細分項目である。

6
各分類項の「註」について

各分類項の内容例示について特別の取決め又はその内容の範囲を明らかにするために、その各項から除外すべき事項又は含まれるべき事項について、注意書が付け加えてある場合がある。これは内容例示表を利用する場合に特に重要な事柄であるから注意して熟読しなければならない。

例 示

017 副腎の結核

副腎〔腎上体〕結核
結核性：
アジソン(氏)病
低アドレナリン症
アドレナリン欠乏症
副腎機能低下症

〔註〕本項は結核性と明示されないアジソン(氏)病(274)を含まない。

この〔註〕は単にアジソン(氏)病とあつて、結核性ということが明示されていない場合には、本項には分類せず括弧内に示した分類項に含まれることを意味している。

なお、大分類項及び分類群にも必要な箇所にその項又は群の全体にまたがる重要な分類上の注意が加えられているから注意を要する。

本内容例示表中に用いられている特殊の表現及び記号について

1) *印

各分類項内容の疾患名又は傷害名で、例えば「肺癆」「よいよい」などのごとく疾患名として不適当なものや統計分類上、はなはだ紛らわしいと思われるものについては *印を附しである。こういう名称は出来るだけ記載を避けて貰いたいことを示したつもりである。

2) NOS

これは国際分類表原本中における表現“Not otherwise specified”の略

(例) ベスト NOS
呼吸器結核 NOS

単にベスト又は呼吸器結核とのみ記載されていて、他には何の説明も記載もないものということの意味している。

3) コロン :

コロンのついた語はその語のみでは十分な表現でなく、下の語と続くことを意味している。

(例) 結核：
肺気管
老人性

この場合、結核のみではこの項に含まれず肺結核、気管結核、老人性結核とあつた場合にはじめてそれぞれ、該当の項目に分類することが出来ることを示している。

コロンをついた語は、それだけでは表現が不十分な場合であるが、コロンがない場合は、その語のみでもその項目に含まれることを意味している。

(例) 硬 脳 膜 炎
 癒 着 性
 線 維 性
 出 血 性

すなわち硬脳膜炎、癒着性硬脳膜炎、線維性硬脳膜炎、出血性硬脳膜炎のいずれもこの項目に含まれることを示している。

4) 小括弧 () 下記の二とおりの意味に用いてあるから、前後の関係からそのどちらであるかを判断して解釈するよう注意されたい。

- イ) 括弧内の語があつてもなくてもよい場合
- ロ) 括弧内の語によつてその前の語を限定する場合

(例) 023 その他の心臓血管梅毒

- イ) 大動脈炎(梅毒性)
- ロ) 動脈梅毒(脳、脊髄の動脈を除く)

以下略

イ) の大動脈炎は梅毒性という記載の有無に関係なく、この項に含まれることを示しているが、ロ) の動脈梅毒の場合、脳動脈及び脊髄動脈の梅毒は本項に含まれず他の項に含まれることを示している。

5) 大括弧 []

ある疾患については胸膜炎、肋膜炎のように同義語に対して、一字又は数字の違つた表現がある。かような例については特に一々列記せず、胸〔肋〕膜炎のごとく大括弧を用いてこれを表わしている。しかして、かような表現は一つの分類項の内容例示中に一方の語が出る度に片方も繰返して掲げる煩を避けて、ただ一度初めに掲げるにとどめたから注意されたい。

(例) 結核性胸〔肋〕膜炎
 副腎〔腎上体〕結核

結核性胸膜炎は、結核性肋膜炎と全く同義語であることを示し、副腎結核は、腎上体結核と表現することもあることをそれぞれ示している。

6) 本巻中の各分類項、内容例示、註(例えば分類項の490—493, 571, 760—776等)の中に用いられている「生後4週未満又は以上」という表現はすべて「満4週未満又は以上」すなわち「生後28日未満又は以上」の意味である。

7) 各分類項の内容例示及び註の中に用いられている記号④, ⑤及び⑥は、それぞれ国際分類番号、日本分類番号及び製表符号の略記号であり、一つの分類項について上記三者の符号がそれぞれ異なる場合に用いてある。

目 次

1

内容例示表目次

	頁
I 伝染病及び寄生虫病	1—31
呼吸器系の結核(001—008).....	1
その他の結核(010—019).....	4
梅毒及びその続発症(020—029).....	9
淋菌感染及びその他の性病(030—039).....	11
腸管伝染病(040—049).....	13
その他の細菌性疾患(050—064).....	15
スピロヘータ病(梅毒を除く)(070—074).....	19
ビールスによる疾患(080—096).....	20
発疹チフス及びその他のリケッチア病(100—108).....	24
マラリア(110—117).....	25
その他の伝染病及び寄生虫病(120—138).....	26
II 新 生 物	32—52
口腔及び咽頭の悪性新生物(140—148).....	36
消化器及び腹膜の悪性新生物(150—159).....	37
呼吸器系の悪性新生物(160—165).....	39
乳房及び性尿器の悪性新生物(170—181).....	40
その他及び部位不明の悪性新生物(190—199).....	42
リンパ組織及び造血組織の新生物(200—205).....	44
良 性 新 生 物(210—229).....	46
性質不詳の新生物(230—239).....	50
III アレルギー性疾患、内分泌系の疾患、物質代謝及び栄養の疾患	53—60
アレルギー性疾患(240—245).....	53
甲状腺の疾患(250—254).....	54
糖 尿 病 (260).....	55
その他の内分泌腺の疾患(270—277).....	55
ビタミン欠乏症及びその他の物質代謝病(280—289).....	57
IV 血液及び造血器の疾患	61—63
血液及び造血器の疾患(290—299).....	61
V 精神病、精神神経症及び人格異常	64—73
精 神 病(300—309).....	64

精神神経症(310—318).....	67
性格、行動及び知能の異常(320—326).....	70
VI 神経系及び感覚器の疾患	74—87
中枢神経系の血管損傷(330—334).....	74
中枢神経系の炎症性疾患(340—345).....	75
その他の中枢神経系の疾患(350—357).....	77
神経及び末梢神経節の疾患(360—369).....	80
眼の炎症性疾患(370—379).....	82
その他の眼の疾患及び状態(380—389).....	83
耳及び乳様突起の疾患(390—398).....	85
VII 循環器系の疾患	88—100
リュウマチ熱(400—402).....	88
慢性リュウマチ性心臓疾患(410—416).....	89
動脈硬化性及び変性性心臓疾患(420—422).....	90
その他の心臓の疾患(430—434).....	92
高血圧性疾患(440—447).....	94
動脈の疾患(450—456).....	96
静脈の疾患及びその他の循環器系の疾患(460—468).....	98
VIII 呼吸器系の疾患	101—110
急性上気道感染(470—475).....	101
インフルエンザ(480—483).....	102
肺炎(490—493).....	103
気管支炎(500—502).....	104
その他の呼吸器系の疾患(510—527).....	105
IX 消化器系の疾患	111—125
口腔及び食道の疾患(530—539).....	111
胃及び十二指腸の疾患(540—545).....	114
虫垂炎(550—553).....	116
腹腔ヘルニア(560—561).....	117
その他の腸及び腹膜の疾患(570—578).....	118
肝臓、胆嚢及び膵臓の疾患(580—587).....	123
X 泌尿器系の疾患	126—136

目 次

3

腎炎及びネフローゼ(590—594).....	126
その他の泌尿器系の疾患(600—609).....	128
男性性器の疾患(610—617).....	130
乳房、卵巣、卵管及び子宮傍結合組織の疾患(620—626).....	132
子宮及びその他の女性性器の疾患(630—637).....	134
XI 分娩並びに妊娠、分娩及び産褥の合併症	137—147
妊娠の合併症(640—649).....	137
流産(650—652).....	140
合併症を伴わない分娩(660).....	143
合併症の明記のある分娩(670—678).....	143
産褥の合併症(680—689).....	145
XII 皮膚及び疎性結合組織の疾患	148—157
皮膚及び皮下組織の感染(690—698).....	148
その他の皮膚及び皮下組織の疾患(700—716).....	152
XIII 骨及び運動器の疾患	158—165
関節炎及びリュウマチ(リュウマチ熱を除く)(720—727).....	158
骨髄炎及びその他の骨、関節の疾患(730—738).....	160
その他の筋骨格系の疾患(740—749).....	163
XIV 先天奇形	166—171
先天奇形(750—759).....	166
XV 新生児の主要疾患	172—178
新生児の出生時の損傷、窒息及び感染(760—769).....	172
その他の新生児固有の疾患(770—776).....	176
XVI 症状、老衰及び診断名不適當の状態	179—192
系統又は器官に関する原因不詳の症状(780—789).....	179
老衰及び診断名不適當の状態(790—795).....	190
XVII 不慮の事故、中毒及び暴力	193—277
E XVII 不慮の事故、中毒及び暴力の二重分類(外因)	194—239
定義及び例示.....	194
鉄道による不慮の事故(E 800—E 802).....	199

自動車による交通事故(E810—E825).....	200
自動車非交通事故(E830—E835).....	204
その他の道路交通機関による不慮の事故(E840—E845).....	205
水上交通機関による不慮の事故(E850—E853).....	207
航空機による不慮の事故(E860—E866).....	209
固体及び液体物質による不慮の中毒(E870—E888).....	213
ガス及び蒸気による不慮の中毒(E890—E895).....	219
不慮の墜落(E900—E904).....	221
その他の不慮の事故(E910—E936).....	223
治療目的以外の内外科的処置による合併症(E940—946).....	231
治療上の事故及び治療処置後の合併症(E950—E959).....	232
傷害及び中毒の後遺症(E960—E965).....	233
自殺及び自傷(E970—E979).....	234
他殺及び他人の加害による傷害(戦争行為を除く)(E980—E985).....	236
戦争行為による傷害(E990—E999).....	238
N XVII 不慮の事故、中毒及び暴力の二重分類(傷害の性質).....	240—277
頭蓋、脊柱及び体幹の骨折(N800—N809).....	241
上肢の骨折(N810—N819).....	243
下肢の骨折(N820—N829).....	244
骨折を伴わない関節脱臼(N830—N839).....	246
関節の捻挫及び隣接筋の筋違い(N840—N848).....	247
頭部の損傷(頭蓋骨折を除く)(N850—N855).....	249
胸、腹及び骨盤腔の内部損傷(N860—N869).....	250
顔、頸及び体幹の裂傷及び開放創(N870—N879).....	252
上肢の裂傷及び開放創(N880—N888).....	254
下肢の裂傷及び開放創(N890—N898).....	255
多箇所をわたる裂傷及び開放創(N900—N908).....	257
表在損傷(N910—918).....	258
挫傷及び破砕(皮膚表面に損傷のないもの)(N920—N929).....	260
孔口への異物侵入(N930—N936).....	261
熱 傷(N940—N949).....	262
骨の損傷を伴わない神経及び脊髄の損傷(N950—N959).....	265
毒物の作用(N960—N979).....	267
天候、不良環境などの作用(N980—N989).....	271
その他及び詳細不明の損傷及び反応(N990—N999).....	273

目 次

補 助 分 類	279—297
入院、出生及び死産の補助分類.....	281—291
疾病でない特殊状態及び診察(Y00—Y09).....	281
回復期保護、形式処置及び補綴処置のための入院(Y10—Y18).....	282
出生の型によつて分けた出生児の分類(Y20—Y29).....	282
死産原因の分類(Y30—Y39).....	283
予防接種、諸欠陥、盲及び聾の補助分類.....	292—297
予防接種及び種痘(Y40—Y49).....	292
出生時の損傷、先天奇形及び筋骨格疾患による欠陥(Y50—Y59).....	293
その他の疾患及び不慮の事故による欠陥(Y60—Y69).....	294
疾病、先天奇形及び損傷による欠陥又は切断(Y70—Y79).....	295
疾病又は損傷に続発する盲及び聾(Y80—Y89).....	296

I 伝染病及び寄生虫病

本群はインフルエンザ、肺炎、腸炎及び一部の局所感染を含まない。

呼吸器系の結核 (001-008)

001-008項は結核の臨床所見を明示されないもの及び現在治療又は看視を必要としないもの (Y03) を含まない。

三桁日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

001

肺の職業疾患の記載のある呼吸器結核

[註] 本項は肺の職業疾患 (523, 524) の記載のある002-008のすべての疾患を含む。

001.a

珪肺症の記載のある呼吸器結核

0010

珪	肺	結	核	症	を伴う呼吸器結核
珪		砂	症		
珪		石	症		
石		粉	症		
よ	ろ	け	(病)*		
よ	い	よ	い	(病)*	

石	吹工	[サンドブラスター]	工	の結核
研	磨		工	
石	白	製作	工	

④523.0、④523.a、④5230の内容を伴う002-008に分類される結核

001.b

その他の塵肺症の記載のある呼吸器結核

0011

塵	肺	結	核	症	を伴う呼吸器結核
石		綿	肺		
滑		石	肺		
炭			肺		
鉄		工	肺	の結核	
陶		アルミニウム	肺		
ア		ベリリウム	肺		
鉍		夫	肺	の結核	
甘		蔗	肺		
綿		塵	肺		
炭		坑	夫	の結核	
鉍			夫		
陶			工		

④523.1-523.3、④523.b、④5231-5233及び524の内容を伴う002-008に分類される結核

001.c

その他の職業疾患を伴う呼吸器結核

0012

職	業	性	喘	息	を伴う呼吸器結核
職	業	性	肺	気腫	
職	業	性	気	管支[枝]炎	

三桁 日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

002

肺 結 核

[註]肺結核を病症の範囲又は重さの程度によつて分類することは行わない。その理由は、このことに関しては各国でそれぞれの公私の公衆衛生機関による特殊の分類が行われているからである。Y03の補助分類項は治癒したか又は病勢の停止した肺結核で、なお看視下にあるもの及び無症状のもの又は治療の必要のないものでレントゲン検査の結果、結核と認められるものを入れる。又、Y01の補助分類項は臨床所見でも、レントゲン検査でも異常がなくツベルクリン反応だけが陽性に現われるものを入れる。

002. a

肺結核(粟粒結核の記載のないもの)

0020

- | | |
|---------------|-------------|
| 肺 結 核(症) | 小児肺結核(症) |
| 肺 癆* | 結 核(症): |
| 肺 浸 潤 | 肺 (各 部 位) |
| 肺尖カタ(-)ル[加答児] | 類線[織]維腫性肺 |
| 乾酪(性)肺炎 | 気 管 支 |
| 乾酪(性)気管支[枝]肺炎 | 人 性 器 |
| 結節性肺結核症 | 呼 吸 |
| 硬化性空洞(性)結核(症) | 結 核 性: NOS* |
| 硬化性結核(症) | 肺 膿 瘍 |
| 空洞(性)結核(症) | 気管支拡張症 |
| 増殖性肺結核(症) | 肺 の 線 維 症 |
| 滲出性肺結核(症) | 喀 出 血 |
| 結核性空洞 | 肺 炎(各 型) |
| ルンゲン・ツベルクローゼ | 肺 気 腫 |
| エビ・ツベルクローゼ | |
| (症状を伴うもの) | |

[註] 本項は詳細不明の呼吸器結核を含む。

002. b

粟粒結核の記載のあるもの

0021

- 結 核 (症):
- 肺 (各 部 位):
- 播 種 性
- 粟 粒 性
- 粟粒結核の記載のある002. a及び002. cのすべての疾患

[註] 本項は肺の記載のある粟粒結核及び播種結核を含む。

002. c

その他の部位の結核を合併するもの

0022

その他の部位の結核の記載のある002. aのすべての疾患(粟粒結核の記載のあるもの(002. b)を除く)

003

胸 膜 結 核

003.0 003.0

結核性と明示された胸膜炎

0030

- | | |
|----------------|-------|
| 結核性(滲出性)胸[肋]膜炎 | 結核性血胸 |
| 乾酪性胸膜炎 | 結核性膿胸 |
| 胸膜結核 | 結核性気胸 |

003.1 003.1

原因の記載のない滲出性胸膜炎

0031

- | | |
|-----------|-------------|
| 滲出性胸[肋]膜炎 | 水 胸* |
| 湿性胸膜炎 | 漿液線[織]維素胸膜炎 |
| 肋膜蓄水 | 漿液性胸膜炎 |

I 伝染病及び寄生虫病

三桁 日本 国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

004

症状を伴う結核初期変化群

結核(性)初期変化群
結核性第一次変化群
初感染竈(ゴーン竈)の症状を伴うもの
初感染結核症
結核(性)初感染群
ランケ(氏)の初期浸潤

0040
000

005

症状を伴う気管気管支リンパ腺結核

結核性リンパ腺炎
結核性肺門気管支炎
結核性縦隔気管支炎
結核性リンパ腺炎
結核性肺門気管支炎
結核性縦隔気管支炎
結核性気管支炎

0050

006

エックス線所見による活動性呼吸器結核 (他の項に分類されないもの)

本項は001—005項に分類するのを正当づける臨床所見を認めないがエックス線所見により活動性肺結核又は活動性胸膜結核と認められるものを含む。

本項の設定は結核診療所、エックス線集団検診及びその他患者発見対策上に資するところが大きいと見られる。

本項には精密な臨床検査を受けた結果、所見は証明されないがエックス線所見によつて活動性結核を疑われ現に看視中の症例も含まれ、又、全然臨床診断を受けないものも含まれる。

本項は活動性結核の疑いのあるものについてそれが結局証明されずに終る症例(したがつてその結果はY03か又は結核以外の肺の疾患の項に再分類されることになる)を含むから、全呼吸器の結核(001—008)に関する疾病統計においては006に分類された症例及び活動性の所見を認めなかつた数を常に特記することが望ましい。このことは150項目の中間分類及び50項目の簡単分類中の「呼吸器の結核(001—008)」の場合にも同様に適用される。

0060

007

その他の呼吸器結核

結核性：鼻(中隔)咽頭、副鼻腔(各部)、扁桃(腺)、声門、喉頭、気管、口腔、縦隔(洞竈)、結核性：鼻頭、喉後、咽、喉、衰弱

0070

002—006に分類されないその他の部位の呼吸器

[註] 本項は詳細不明の呼吸器結核(002)を含まない。

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

008

部位不明の結核

結核 NOS*

部位の記載のない結核(症)及び結核性疾患

100

0080

その他の結核 (010-019)

010

髄膜及び中枢神経系の結核

脳の孤立(在)性結核結節

結核腫:

脳髄 [脳] 膜
脊髄 脊 髄

結核性:

脳膿瘍(各部位)

脳軟膜 炎

脊髄膜 炎

脊髄 炎

結核(症):

脳(各部位)

中枢神経系(各部位)

脊髄

髄膜(脳、脊髄)

脳又は髄膜の粟粒性

0100

011

腸、腹膜及び腸間膜リンパ腺の結核

011.a

腸

結核性:

腸虫垂 [虫様突起] 炎

盲腸周囲 炎

腸の膿瘍(各部)

肛門膿瘍

痔瘻

腸結核症(各部、小腸、大腸、結腸、直腸(膿瘍を伴う))(粟粒性)

回盲部結核(症)(増殖性)

虫垂結核(症)

肛門結核

0110

011.b

腹膜

結核性:

(全)腹膜 炎

穿孔性腹膜 炎

漿膜 炎

腹膜結核(症)

乾酪性腹膜炎

胸膜結核(症)

腸間膜結核(症)

後腹膜結核(症)

0111

011.c

その他

腸間膜リンパ(リン)腺結核

後腹膜リンパ腺結核

結核性腸間膜リンパ腺炎

腸間膜瘻*

0112

I 伝染病及び寄生虫病

5

製表
符号

製表
符号

三 桁
基本分類

国 際 日 本
四 桁 分 類 四 桁 分 類
★

100
0080

012

骨及び関節の結核(活動性又は詳細不明)

0120

012.0 012.a

脊椎結核(活動性又は詳細不明)

膿瘍(結核性)(冷[寒](性)):

腰 部
腸 筋
仙 [薦] 骨 部
脊 椎 骨

カリエス(結核性):

仙 骨
脊 椎 骨

ポット(氏)病
ポット(氏)脊椎彎曲

活動性又は詳細不明のもの

結 核 性:

脊 椎 又 は 椎 骨 の 関 節 炎
脊 椎 又 は 椎 骨 の 壊 死
脊 椎 病 炎
脊 椎 の 彎 曲 背
仙 骨 結 核 (症)
脊 椎 結 核 (症)

012.1 012.b

股結核(活動性又は詳細不明)

0121

結 核 性:

股 関 節 炎
股 関 節 膿 瘍
股 (関 節) 結 核 (症)
股 関 節 (冷 [寒] (性)) 膿 瘍

012.2 012.c

膝結核(活動性又は詳細不明)

0122

結 核 性:

膝 関 節 炎
膝 関 節 膿 瘍
膝 (関 節) 結 核 (症)
膝 関 節 (冷 [寒] (性)) 膿 瘍

012.3

その他及び詳細不明の骨及び関節結核(活動性又は詳細不明)

012.d

その他及び詳細不明の骨結核(活動性又は詳細不明)

0123

結 核 性:

骨 カ リ エ 瘍
骨 膿 瘍 (脊 椎 を 除 く)
(骨) 壊 死
骨 髓 炎
前 頭 洞 [竇] 膿 瘍
乳 様 [嚢] 突 起 炎
指 趾 炎
骨 結 核 (脊 椎 を 除 く)
風 刺 (病)*
スピナ・ペントーザ

(次頁に続く)

★註: 本頁では特に日本四桁分類項の欄を右端に移した。それは国際の012.3を日本で012.dと012.eに分けたからである。

0110

0111

0112

6		I 伝染病及び寄生虫病		製表 符号
三桁 基本分類	国際 四桁分類	日本 四桁分類		
		★		
	012. e		その他及び詳細不明の関節結核(活動性又は詳細不明)	0124
			結核性: 関節炎(脊椎、股、膝を除く) 滑液膜炎 腱滑液膜炎 樹枝脂肪腫 関節結核(脊椎、股、膝を除く) 関節性冷(寒)(性)膿瘍 (結核性)白腫*	
013			骨及び関節の結核の後遺症	
	013.0	013. a	脊椎結核の後遺症	0130
			012. aの状態で停止性、治癒、非活動性、後遺症又は続発症と明示されたもの	
	013.1	013. b	股結核の後遺症	0131
			012. bの状態で停止性、治癒、非活動性、後遺症又は続発症と明示されたもの	
	013.2	013. c	膝結核の後遺症	0132
			012. cの状態で停止性、治癒、非活動性、後遺症又は続発症と明示されたもの	
	013.3		その他及び詳細不明の骨及び関節結核の後遺症	
		013. d	その他及び詳細不明の骨結核の後遺症	0133
			012. dの状態で停止性、治癒、非活動性、後遺症又は続発症と明示されたもの	
		013. e	その他及び詳細不明の関節結核の後遺症	0134
			012. eの状態で停止性、治癒、非活動性、後遺症又は続発症と明示されたもの	
014			皮膚及び皮下疎性結合組織の結核	
	014.0		原発性皮膚結核	0140
			014.3の内容で原発性と明示されたもの	
	014.1		結核性結節性紅斑	0141
			結核性結節(性)紅斑	
			[註] 本項は結核性と明示されない結節性紅斑(705.2)を含まない。	

★註：本頁では特に日本四桁分類項の欄を右端に移した。それは国際の012.3及び013.3を日本でそれぞれ012.dと012.e及び013.dと013.eに分けたからである。

I 伝染病及び寄生虫病

7

三桁 日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

014.2

狼 瘡

0142

侵蝕性狼瘡 狼瘡 NOS
尋常性狼瘡

[註] 本項は播種性紅斑性狼瘡(456)及び紅斑性狼瘡(705.4)を含まない。

014.3

その他の皮膚及び皮下疎性結合組織の結核

0143

結核疹(皮膚のすべての部位) 硬結性結核
皮膚結核(症) 疣状結核
皮下結核 屍毒結核
硬結性紅斑 バザン(氏)硬結性紅斑
腺病性苔癬 結核性:
苔癬結核 皮膚膿瘍(すべての部位)
皮膚腺病[スクロフロデルマ] 皮膚潰瘍(すべての部位)
潰瘍性粟粒結核 蜂窠[窩]織炎

015

リンパ系の結核

0150

結核性:
全身のリンパ[淋巴]腺[節]
腋窩リンパ腺 結核性:
鼠径[蹊]リンパ腺 リンパ腺炎
頸部リンパ腺 リンパ腺膿瘍
各リンパ腺(気管支、縦隔、腸間膜- 腺病性リンパ腺腫
及び後腹膜のリンパ腺を除く) 腺病性膿瘍
瘰癧[るいれき]*

[註] 本項は気管支、縦隔(洞)のリンパ腺結核(005)及び腸間膜、後腹膜リンパ腺結核(011, 011.c, 0112)を含まない。

016

泌尿器系の結核

016. a

性器の結核

0160

結核性:
卵管炎 結核(症):
性器の膿瘍(すべての部位) 精卵 囊
骨盤膿瘍 (輸)卵 巢管
結核(症): フアロービオ(氏)管
陰茎 子宮(各部位)
前立腺[摂護腺] 子宮頸部
睪丸 子宮内 膜
副睪丸 陰 門
精管系 陰 陰

016. b

泌尿器の結核

0161

結核性:
腎盂炎 結核(症):
腎盂腎炎 (臓)
膀胱炎 膀胱 尿道管
泌尿器の膿瘍(すべての部位) 尿管

017

副腎の結核

0170

副腎[腎上体]結核 結核性:
結核性: アドレナリン欠乏症
アジソン(氏)病 副腎機能低下症
低アドレナリン症

[註] 本項は結核性と明示されないアジソン(氏)病(274)を含まない。

三桁日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

018

その他の臓器の結核

018.0 018.0

眼の結核

0180

眼の結核(各部位)
結核性:
脈絡膜炎
瀰漫性脈絡膜炎
角膜炎

結核性:
虹彩炎
虹彩毛様体炎
青年性再発性網膜硝子体出血

018.1 018.1

耳の結核

0181

結核性中耳炎
耳の結核(骨及び皮膚を除くすべての部位)
内耳の結核

[註] 本項は結核性乳様突起炎(012.3, 012.d, 0123)を含まない。

018.2 018.2

その他

0182

結核(症):
乳口
食道
甲狀腺
胸
舌
胃
肝
房腔道腺
(各部)
(臓)

結核(症):
脾(臓)
心(臓)
心囊
001-018.1に分類されないその他の臓器
001-018.1に分類されない臓器の結核性と
明示されたすべての疾患

019

播種結核

[註] 本項は多部位にわたる結核で肺の記載のある場合(002, 002.c, 0022)、
又は一部位の結核が死亡又は治療の主要な原因である場合を含まない。

019.0

急性粟粒結核(肺以外と明示されたもの)

0190

肺以外と明示された急性全身性粟粒結核
肺を除く多発性急性粟粒結核

019.1

詳細不明の急性粟粒結核

0191

急性全身性結核 NOS
急性粟粒結核 NOS

019.2

その他の播種結核

0192

結核(症):
臓器不明の慢性粟粒
全身性
瀰漫性
多発又は部位不明の粟粒
肺の記載のないもの
結核性多発性漿膜炎
019.0-019.1に分類されないその他の播種結核

梅毒及びその続発症 (020-029)

三行日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

020

先天梅毒

- 020.0 実質性角膜炎
実質性角膜炎(先天性)(非梅毒性と明示された場合を除く)
- 020.1 若年神経梅毒
若年(性):
神経梅毒
麻痺性痴呆
進行麻痺
若年(性):
脊髄痙攣
脊髄痙攣兼進行麻痺
梅毒性先天性脳水腫
- 020.2 その他の先天梅毒
先天(性)梅毒
先天梅毒性天疱瘡
小児梅毒*
先天(性)梅毒(各部位)(各期)(各型)(実質性角膜炎及び若年神経梅毒を除く)
先天又は遺伝性と明示された梅毒のすべての状態(実質性角膜炎及び若年神経梅毒を除く)
乳児梅毒*
新生児梅毒*
ハッチンソン(氏)歯牙

021

早期梅毒

[註] 本項は早期心臓血管梅毒(022-023)及び早期神経梅毒(024-026)を含まない。又、晩期梅毒(022-027)の記載のある場合には原死因としてはとらない。

- 021.0 第一期梅毒(性器以外の硬性下疳を除く)
下疳(硬性)(硬結性)(伝染性)(第一期)(再発性)(全性器)
第一期と明示された梅毒
初期硬結
無痛横痃
- 021.1 性器以外の硬性下疳
性器以外のすべての部位の下疳(硬性)(硬結性)(伝染性)-
(第一期)(再発性)
眼の硬性下疳
唇の硬性下疳
- 021.2 第二期梅毒
梅毒性尖圭コンジローム
扁平コンジローム
第二期と明示された梅毒
皮膚と明示された梅毒(潰瘍を伴うもの)(早期)(第二期)
穿孔のない潰瘍と明示された梅毒(早期)(第二期)
[註] 本項は第一期及び第二期を併記された梅毒を含む。
- 021.3 治療後に再発した早期梅毒
- 021.4 第一期又は第二期の別不明の早期梅毒
心臓血管系、中枢神経及び早期潜伏梅毒を除く早期と明示された梅毒

製表
符号

0180

0181

0182

0190

0191

0192

0192

三. 桁 日 本 国 際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

022

梅毒性大動脈瘤

大動脈瘤
腹部大動脈瘤
紡錘状動脈瘤
腹部動脈瘤

胸部動脈瘤
先天性以外の梅毒性動脈瘤(脳、
脊髄を除くすべての動脈)
梅毒性と明示された大動脈の拡張

0220

[註] 本項は非梅毒性と明示された大動脈瘤(451)を含まない。

023

その他の心臓血管梅毒

(梅毒性)大動脈炎
梅毒性動脈炎(全身性)
動脈梅毒(脳、脊髄の動脈を除く)
静脈梅毒(脳を除くすべての部位)
心臓血管梅毒(早期)(晩期)-
(第一期)(第二期)(第三期)

心臓梅毒
循環器系梅毒腫
動脈ゴム腫[グンマ]
心臓又は循環器系の梅毒性疾患
心臓又は動脈(すべての部位)-
のゴム腫(梅毒性)

0230

024

脊 髄 癆

脊 髄 癆
脳 脊 髄 癆
脊髄後索硬化症*
脊髄後索変性症*
運動性失調症(進行性)*
[Locomotor ataxia]
進行性脊髄性運動失調

痙攣性運動失調症*
デュ・シェンヌ(氏)病
脊髄癆性関節病
梅毒性変形性関節炎(シャルコー氏)
シャルコー(氏)関節病
脊髄癆性神経梅毒

0240

[註] 本項は運動失調NOS(780.5, 780.c, 7805)を含まない。

025

進 行 麻 痺

進行(性)麻痺
麻痺性痴呆
脊髄癆性進行麻痺
全身麻痺、全身不全麻痺*
進 行 性
脊 髄 癆 性

麻 痺 狂*
梅毒性髄膜炎*
脳性全身性不全麻痺*
デメンチア・パラリチカ

0250

026

その他の中枢神経系の梅毒

脳 梅 毒
髄膜血管梅毒
脳の静脈梅毒
脳脊髄梅毒
脳のゴム腫[グンマ]
ヒルン・ルーエス

中枢神経系(すべての部位)の梅毒-
(早期)(晩期)(潜伏)
中枢神経系(すべての部位)のゴム-
腫又は梅毒腫(梅毒性)
中枢神経系(すべての部位)の梅毒-
性動脈瘤(破裂性)
中枢神経系の梅毒を伴う精神病-
(進行麻痺を除くすべての型)

0260

027

その他の晩期梅毒

肺(臓)
食 道
胃
肝(臓)
筋 肉 脱
骨 膈
骨
脾(臓)
鞏 丸
の病期の明示され
ない梅毒

病期の明示されない梅毒性:
関 節 炎
骨 髄 炎
骨 膜 炎
ゴム腫NOS
021-026に分類されない晩期梅毒-
又は第三期梅毒

0270

I 伝染病及び寄生虫病

三桁日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

028

潜伏梅毒

[註] 本項は血清の梅毒反応が陽性であるが各項に掲げた梅毒のいずれの臨床症状もなく、また脳脊髄液の梅毒反応が陰性又は陰性と推定されるものを含む。又、晩期梅毒(022—027)の記載のある場合には原死因としてはとらない。

028.0

早期潜伏梅毒

0280

感染後4年に満たないもの
第一期潜伏梅毒
第二期潜伏梅毒

028.1

晩期潜伏梅毒

0281

感染後4年以上経過したもの
第三期潜伏梅毒

028.2

上記の別不明の梅毒

0282

感染の時期不明の潜伏梅毒
梅毒血清反応陽性のもの

029

分類不明の梅毒

0290

梅毒 NOS*
部位及び病期不明の梅毒*
ルーエス NOS*
シフィリス NOS*

[註] 本項は晩期梅毒(022—027)が記載された場合には原死因としてはとらない。

淋菌感染及びその他の性病 (030—039)

030

急性又は詳細不明の淋疾

0300

淋疾
淋病*
性尿器((輪)卵管炎を除く)-
又は部位不明の淋菌感染又は
は淋菌性疾患 } 急性又は詳細不明のもの

031

性尿器系の慢性淋菌感染

0310

淋疾
淋病*
性尿器系又は部位不明の淋菌感染-
又は淋菌性疾患 } 慢性と明示されたもの
淋菌性(輪)卵管炎

032

関節の淋菌感染

0320

淋菌(感染)性:
関節炎
滑液嚢炎
関節(すべての部位)
リュウマチ
淋菌(感染)性:
脊椎炎
滑(液)膜炎
脛滑膜炎
腱鞘炎

三行 日本国際
基本分類 四行分類 四行分類

製表
符号

033

眼の淋菌感染

0330

淋菌〔毒〕性結膜炎
新〔初〕生児膿漏眼
膿漏眼
新生児淋菌性結膜炎

淋菌性虹彩炎
新生児淋菌性眼炎
眼(すべての部位)の淋菌感染

034

その他の部位の淋菌感染

0340

淋菌性(感染又は疾患):
蜂窠〔窩〕織炎
心内膜炎
心臓(各部)膜炎
敗血症

淋菌性角化症
その他030-033に分類されない
他部位の淋菌感染で後遺症と明
示されないもの

035

淋菌感染の後遺症

0350

淋菌感染の後遺症と明示されたもの及び淋疾発病後1年以上経過
したもの

036

軟性下疳

0360

軟性下疳(すべての部位)
単純性軟性下疳
ジュクレー(氏)下疳
軟下疳

037

鼠径リンパ肉芽腫

0370

鼠径〔蹠〕リンパ〔淋巴〕肉芽腫
第四性病
ニコラ・ファーブル(氏)病
気候性横痃

熱帯(性)横痃
炎症性直腸狭窄
エスチオメース

038

性病性肉芽腫

0380

性病性肉芽腫
性病性鼠径〔蹠〕肉芽腫
陰部肉芽腫
陰部の潰瘍性肉芽腫

039

その他及び詳細不明の性病

0390

包皮 炎 }
尿道 炎 } 性病 NOS によるもの
陰 炎 }

鼠径〔蹠〕部横痃
性病性横痃
性病 NOS*
020-038に分類されないそ
の他の性病

腸管伝染病 (040-049)

040-049項は腸炎(571, 764, ⑧785. 6, ⑨785. b, ⑩7856)を含まない。

三桁 日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

040

腸チフス

0400

腸チフス
チフス腸炎
チフス(熱)(感染)(すべての部位)

頓挫性チフス
逍遙性チフス
チフス性腸炎

041

パラチフス

0410

パラチフスA, B及びC
パラチフスNOS

042

その他のサルモネラ感染

0420

042.0 伝染の媒介物として食物の記載のないもの

エリトリック感染
サルモネラ感染
サルモネラ症
ゲルトネル感染

伝染の媒介物として食物の記載のないもの

042.1

伝染の媒介物として食物を伴うもの
042.0の各項が食物によると明示された場合

0421

043

コレラ

0430

コレラ
アジア・コレラ
インド・コレラ
コレラ下痢

軽症コレラ
乾性コレラ
電撃性コレラ

[註] 本項は小児コレラ及びコレラ様下痢(571, 生後4週未満の場合は764)を含まない。

044

ブルセラ病(波状熱)

0440

ブルセラ病(各病期)
流産熱
メリテンジス熱
流産菌感染

マルタ熱
地中海熱
波状熱

045

細菌性赤痢

0450

045.0 フレクサナー・ボイド群

赤痢:
フレクサナー・ボイド
フレクサナー
異型菌*(I型菌*, II型菌*, III型菌*)
二木菌
駒込A, B₁, B₃菌

赤痢:
川中昭サ箕居
瀬村和ゴ田石
菌菌菌菌菌菌*

(次頁に続く)

I 伝染病及び寄生虫病

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

045.1	シュミツツ赤痢 シュミツツ赤痢 大野菌赤痢 府中菌赤痢*	0451
045.2	志賀赤痢 志賀(菌)赤痢 本型菌赤痢	0452
045.3	ゾンネ赤痢 ゾンネ赤痢 大原菌赤痢 バラ赤痢*	0453
045.4	その他及び非特殊菌	
	★疫 痢	0454
	疫 痢 NOS	
	★その他及び非特殊菌(疫痢を除く)	0455
	細菌(性)赤痢 赤痢(045.0—045.3に分類されないその他のすべての赤痢菌及び非特殊菌によるもの)	
046	アメーバ症	
046.0	肝膿瘍の記載のないもの アメーバ症 } 肝膿瘍の記載のないもの アメーバ(性)赤痢 } アメーバ感染 } アメーバ(性)腸潰瘍 } アメーバ(性)大腸炎 } 肝膿瘍の記載のないもの エントアメーバ(性)赤痢 }	0460
046.1	肝膿瘍を伴うもの アメーバ(性)肝膿瘍 赤痢(性)肝膿瘍 熱帯(性)肝膿瘍	0461
047	その他の原虫性赤痢 バランチジウム症 } ジアルジア又はジアルジウム症 バランチジウム(性)赤痢 } ランブリア又はランブリウム症 バランチジウム(性)大腸炎 } 腸トリコモナス症 鞭毛虫(性)下痢(各型) } その他のアメーバ性以外の原虫性赤痢 エンバドモナス症 }	0470
048	詳細不明の赤痢 赤 痢 NOS* 赤痢性下痢 カタ(-)ル[加答見]性赤痢* 流行性赤痢* 出血性赤痢 散発性赤痢	0480

★註： 我国の事情により特に部内限りの製表符号を設けた。

I 伝染病及び寄生虫病

15

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

049

食物中毒(感染及び中毒)

[註] 本項はサルモネラ感染(042)及び有毒食物による中毒(E 879, N960)を含まない。

049.0

葡萄球菌性食物中毒

葡萄(状)球菌性食物中毒
食物によると明示された葡萄(状)球菌性毒血症

049.1

ボツリヌス(性)中毒

ボツリヌス(性)中毒
腸 詰 中 毒

049.2

詳細不明の食物中毒

急性食物中毒
食物中毒NOS
細菌性食物中毒
ブトマイン中毒

その他の細菌性疾患 (050-064)

050

猩 紅 熱

猩 紅 熱
赤 色 熱
創 傷 猩 紅 熱
無 疹 性 猩 紅 熱

[註] 本項は産褥性猩紅熱(681)を含まない。

051

連鎖球菌性口峽炎

ア ン ギ ー ナ
鼻 咽 頭 炎
咽 頭 炎
口 峽 炎 (潰瘍性)
扁 桃 (腺) 炎
敗 血 性:
性質不明のアンギーナ
性質不明の口峽炎
性質不明の咽頭炎
連鎖(状)球菌性口峽炎

[註] 本項は急性咽頭炎(472)及び連鎖球菌性肺炎(490, 491, 493)を含まない。

052

丹 毒

丹 毒
新[初]生児丹毒
外科的丹毒 } すべての部位(産褥性を除く)

[註] 種痘又は掻傷のような軽傷による丹毒の場合は丹毒を主因とし掻傷(N 910-N918)を副次的とみる。重い外傷の場合は外傷を主因とし丹毒を副次的とみる。又、手術後丹毒は手術原因である疾患に従属するものとみる。治療目的以外の手術による丹毒の場合も、丹毒に符号しないで治療目的以外の外科的処置による合併症(E 946)に符号する。

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

053

敗血症及び膿血症

〔註〕本項は局所の皮膚及び創傷感染(690—698及び四桁の.3,.6又は.8を伴うN800—N959)並びに産褥性敗血症(645.1,651,681)を含まない。
種痘又は掻傷のような軽傷による敗血症及び膿血症の場合は敗血症及び膿血症を主因とし、掻傷(N910—N918)を副次的とみる。重い外傷の場合は敗血症を起した傷害を主因とみる。

053.0

連鎖球菌によるもの

菌血症
毒血症
全身性感染症
膿血症
膿血性膿瘍
膿血性塞栓症
敗血症

連鎖(状)球菌によると明示されたもの

0530

053.1

葡萄球菌によるもの

葡萄(状)球菌によると明示された053.0のすべての状態

0531

053.2

肺炎球菌によるもの

肺炎(490—493)が現症である場合を除いた肺炎球菌によると明示された053.0のすべての状態

0532

053.3

その他の微生物によるもの

その他の判明した微生物による053.0のすべての状態、但し淋菌(030—035)、髄膜炎菌(057)、ペスト(058)及びガス壊疽(063)によるものを含まない。

0533

053.4

詳細不明の微生物

詳細不明の微生物による053.0のすべての状態

0534

054

細菌性毒血症

細菌性毒血症

〔註〕本項は食物によると明示された葡萄球菌性毒血症(049.0)を含まない。

0540

055

ジフテリア

ジフテリア(各部位)(各型)

アンギーナ
クループ〔クループ〕
喉頭炎
咽頭炎
口内炎
扁桃(腺)炎
気管炎
悪性アンギーナ

ジフテリア性(偽膜性)と明示されたもの

0550

ジフテリア:

眼
鼻
耳
皮膚

ジフテリア性麻痺
ジフテリア後麻痺

膚

I 伝染病及び寄生虫病

17

三行日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

056

百日咳

056.0

肺炎の記載のないもの

百日咳

肺炎の記載のないもの

056.1

肺炎を伴うもの

百日咳

肺炎(各型)を伴うもの

057

髄膜炎菌感染

[註] 本項は結核性髄膜炎(010)及び非髄膜炎菌性髄膜炎(340)を含まない。

057.0

髄膜炎菌性髄膜炎

脳脊髄膜炎(急性)(髄膜炎菌性):
流行性
伝染性

双球菌性髄膜炎
流行性(脳脊)髄膜炎
脳脊髄(性)熱(髄膜炎菌性)*

髄膜炎菌性脳炎
髄膜炎菌性髄(脳)膜炎

057.1

急性及び性質不明の髄膜炎菌血症

フリーデリクセン・ウオーターハウス症候群

髄膜炎菌血症NOS

急性髄膜炎菌血症

髄膜炎菌性出血性副腎炎

髄膜炎菌性敗血症

髄膜炎の記載のないもの

057.2

慢性髄膜炎菌血症

慢性髄膜炎菌血症

慢性髄膜炎菌性敗血症

057.3

その他の髄膜炎菌感染

髄膜炎菌感染

髄膜炎菌感染で057.0-057.2に分類されないその他の型

058

ペスト

058.0

058.0

腺ペスト

腺ペスト

058.1

058.1

肺ペスト

肺ペスト

058.2

058.2

その他

ペストNOS*

黒死病*

敗血症性ペスト

インド・ペスト

058.0, 058.1に分類されないペスト

I 伝染病及び寄生虫病

三桁日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

059		野 兎 病		0590
		野兎病(すべての型) ツラレミア 野 兎 熱 大 原 (氏) 病		
060		癩		
060.0	060.0	結 節 癩		0600
		癩 腫(性)癩 結 節 癩		
060.1	060.1	神 經 癩		0601
		神 經 癩 斑 紋 癩		
060.2	060.2	混 合 癩		0602
		混 合 癩 混 合 型 の 癩		
060.3	060.3	詳細不明のもの		0603
		ギリシャ 象皮病* 癩 プ 病* レ プ ラ*	詳細不明のもの	
061		破 傷 風		0610
		破傷風(産褥性を除く) 新生児破傷風 新生児の咬傷(牙関緊急)*		
		[註] 本項は咬傷NOS(781.4)を含まない。 破傷風が種痘又は搔傷のような軽傷による場合は破傷風を主因とみて 搔傷(N910-N918)を副次的とみる。重い外傷の場合は外傷を主因と して破傷風を副次的とみる。		
062		炭 疽		0620
		炭疽(各型、各部位) 炭疽菌による感染 悪性膿 胞*	選 毛 者 病 脾 脱 疽	
063		ガ ス 壊 疽		0630
		ガス壊疽(菌感染) 好気性被囊感染 ウェルシュ氏菌感染 悪性水[浮]腫(各部位)*		

I 伝染病及び寄生虫病

三桁 日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

製表
符号

064

その他の細菌性疾患

〔註〕本項は肺炎(490—491, 493)、呼吸器感染(470—475, 500—501, 510—513, 517)及び皮膚感染(690—698)を含まない。

064.a

064.2

鼻 疽

鼻 疽
馬 鼻 疽
マ レ ウ ス

0642

064.b

そ の 他

064.0

流行性関節炎性紅斑

0640

流行性関節炎性紅斑
ハ ヴ ァ ー ヒ ル 熱

064.1

珠数状連鎖桿菌による鼠咬熱

0641

珠数状連鎖(状)桿菌によると明示された鼠咬熱

〔註〕本項は性質不詳の鼠咬症及び鼠咬症スピロヘータ(鼠毒)による鼠咬症(074.0)を含まない。

064.3

偽 鼻 疽 症

0643

偽マレイ放線菌病
ホイットモア病
偽 鼻 疽 症

064.4

そ の 他

0644

類 丹 毒
他に分類されない細菌性疾患

スピロヘータ病(梅毒を除く) (070—074)

070

ワンサン感染

0700

ワンサン〔ワンサン〕感染(各部位) ワンサン扁桃(腺)炎
ワンサン(氏)アンギーナ トレンチ・マウス
ワンサン(氏)歯肉〔齦〕炎 スピロヘータ(性)口内炎

071

回 帰 熱

071.0

シラミの媒介によるもの

0710

シラミ〔虱〕の媒介による回帰〔再帰〕熱

071.1

ダニの媒介によるもの

0711

ダニ〔蝨〕の媒介による回帰〔再帰〕熱

071.2

性質不明のもの

0712

性質不明の回帰〔再帰〕熱
性質不明の螺旋菌病
071.0及び071.1に分類されない回帰熱

三桁 日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

072

黄疸出血性レプトスピラ病(ワイル病)

ワイル(氏)病
稲田(氏)病
レプトスピラ性髄膜炎
黄疸出血性レプトスピラ病
スピロヘータ性(出血性)黄疸
黄疸出血性スピロヘータ病

0720

073

フランベシア

フランベシア[ヤ]
ガンゴザ
グーンドウ[Goundou]
熱帯癩盆子腫*
母果状腫*
フランベシアによる角質増殖症
フランベシアによる骨炎
フランベシアによる潰瘍性ゴム腫

0730

074

その他のスピロヘータ及びレプトスピラ感染

074.0

鼠咬症スピロヘータによる鼠咬症(鼠毒)

鼠毒
鼠咬症NOS
鼠咬症スピロヘータによる鼠咬症

0740

[註]本項は珠数状連鎖桿菌による鼠咬症(064.1, 064.b, 0641)を含まない。

074.1

その他

ビジェル(Bejel)
沼地熱*
泥熱*
七日疫[熱]
ピント病
波佐見熱
作州熱
秋疫(A)(B)
スピロヘータ病NOS*
その他梅毒(020-029)及び070-074.0に分類されないスピロヘータ及びレプトスピラ感染

0741

ビールスによる疾患 (080-096)

080

急性灰白髄炎

[註]本項は後遺症、続発症又は発病後1年以上経過したもの(081)を含まない。

080.0

球性又は灰白脳炎と明示されたもの

脳灰白脳炎(急性)(球性)
灰白脳脊髄炎(急性)
小児麻痺(急性)
灰白脊髄炎(急性)
脊髄前角炎(急性) } 球性と明示されたもの

0800

080.1

その他の麻痺を伴うもの

急性萎縮性脊髄麻痺
麻痺性小児麻痺
灰白脊髄炎(急性)
灰白脊髄前角炎(急性)
流行性灰白脊髄炎(急性) } 球麻痺以外の麻痺を伴うもの

0801

I 伝染病及び寄生虫病

21

三行日本国際
基本分類四行分類四行分類

製表
符号

製表
符号

0720

080.2

非麻痺性と明示されたもの

0802

灰白脊髄炎(急性)
前角流 行性 } 非麻痺性と明示されたもの

0730

080.3

詳細不明のもの

0803

小児麻痺
ハイネ・メジン(氏)病
灰白脊髄炎(急性)
前角流 行性 } 麻痺性か非麻痺性か不明のもの

081

急性灰白髄炎の後遺症

0810

急性灰白髄炎(又は080に示された疾患と同意語)の後遺症又は続発症と明示された麻痺或いは各疾患又は急性灰白脊髄前角炎に罹患後1年以上経続する麻痺或いは各疾患

0740

082

急性伝染性脳炎

[註] 本項は後遺症、続発症又は発病後1年以上経過した状態(083)、その他又は詳細不明の脳炎(343)及び種痘後脳炎(E 941, N 997)を含まない。

0741

082. a

日本脳炎

0820

日本脳炎
日本B型脳炎 } 流行(性)日本脳炎
夏季脳炎

082. b

その他

0821

(急性)嗜眠性脳炎
急性脳炎性髄膜炎
急性脳脊髄炎
急性髄膜脳炎
リンパ[淋巴]性絨毛(膜)髄膜炎
急性伝染性流行性
ロシヤ春秋型
セントルイス(型)
重症エコーノモ型
ウィーン型
ビールス性[濾過性]
馬型(東部)(西部)
間代性筋痙攣性

083

急性伝染性脳炎の後遺症

0801

083.0

脳炎後パーキンソン病態

0830

脳炎後のパーキンソン(氏)症候群
脳炎後のパーキンソニスムス
脳炎後の振[震]顫麻痺

(次頁に続く)

三桁日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

083.1	083.1 脳炎後の人格及び性格の異常 急性伝染性脳炎の結果の人格異常 急性伝染性脳炎(又は082の内容と同意語)の後遺症と明示された-320, 321, 325, 326の状態	0831
083.2	083.2 脳炎後の精神病 脳炎後の精神病 急性伝染性脳炎(又は082の内容と同意語)の後遺症として明示された300-309の状態	0832
083.3	083.3 その他の脳炎後の状態 急性伝染性脳炎の結果の眼球運動障害発作 急性伝染性脳炎の結果の呼吸障害発作 急性伝染性脳炎(又は082の内容と同意語)の後遺症と明示された-状態又は発病後1年以上存在すると明示された083.0-083.2以外の状態	0833
084	084 痘 瘡 痘(各型) 痘(各型) 痘(各型) 痘(各型) 痘(各型) アラ ス ト リ ム 天 然 痘 瘡 痘	0810
085	085 麻 疹 085.0 085.0 肺炎の記載のないもの 麻 疹 血(性)麻 疹 マ ー ゼ ル ン 085.1 085.1 肺炎を伴うもの 麻 疹(性)肺 炎 麻 疹(性)肺 炎 血(性)麻 疹 マ ー ゼ ル ン	0850
086	086 風 疹 風 疹 ベ オ ー ラ 日 ば し か ドイツ麻疹 バ ラ 疹	0860
087	087 水 痘 水 痘 水 痘 鶏 痘 みすぼうそう	0870
088	088 帯 状 疱 疹 帯状疱疹(各部位) 帯状痙行疹 眼の帯状疱疹 ヘルペス・ツォステル	0880

I 伝染病及び寄生虫病

23

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

型表
符号

型表
符号

0831

089

流行性耳下腺炎

流行性〔伝染性〕耳下腺炎
おたふくかぜ*
流行性耳下腺炎性脳炎

流行性耳下腺炎性睾丸炎
流行性耳下腺炎性睪膜炎

0890

0832

090

デング熱

デング(熱)

0900

0833

091

黄熱

黄熱

0910

0840

092

伝染性肝炎

流行性肝(臓)炎
伝染性肝炎(急性又は亜急性)
カタ(一)ル〔加答見〕性黄疸

流行性黄疸
伝染性黄疸(急性又は亜急性)

0920

〔註〕本項はスピロヘータ性黄疸(072)、免疫後黄疸(E943, N997)及び血清黄疸(E951, N998.5)を含まない。

0850

093

腺熱(伝染性単核細胞症)

腺熱
伝染性単核細胞症
鏡熱

士 佐 熱
日 向 熱

0930

0851

094

狂犬病

狂 犬 病
恐 水 病*
リ ッ サ

0940

0860

095

トラコーマ

(慢性)(急性)トラコーマ〔トラホーム〕
トラコーマ・パンヌス
顆粒性結膜炎(トラコーマ)

0950

0870

096

ビールスによるその他の疾患

〔註〕本項はかぜひき(470)、インフルエンザ(480—483)、非定型肺炎(ビールス肺炎)(492)、伝染性いぼ(696)及び伝染性軟(風)腫(697)を含まない。

0880

096.0

熱性疱疹

疱 疹〔ヘルペス〕
NOS
脳 炎 性
熱 性

疱 疹 性
陰 口 性
単 純 性

0960

096.1

伝染性角膜結膜炎

流行性角(膜)結膜炎
伝染性角(膜)結膜炎
封入体性結膜炎

0961

示された-

て明示さ-

示された-
-083.2以-

ステル

I 伝染病及び寄生虫病

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

三桁日本
基本分類四桁分

096.2	オーム病及びハト病 オーム〔鸚鵡〕病〔熱〕 ハト病	0962	102
096.3	牛痘 牛痘(種痘によらないもの) 〔註〕本項は種痘による牛痘疹(E940, N777)を含まない。	0963	103
096.4	流行性しゃっくり 流行性しゃっくり	0964	
096.5	流行性筋痛(ボルンホルム病) ボルンホルム病 流行性筋痛	0965	104
096.6	口蹄病 口蹄病 アフタ熱	0966	
096.7	蚧熱 ブヨ(蚧)熱 バタチ熱	0967	105
096.8	リフトバレー熱 リフトバレー熱	0968	
096.9	その他 080—096.8に分類されないウイルスによるその他の疾患	0969	106

発疹チフス及びその他のリケッチア病 (100—108)

100

シラミ媒介の流行性発疹チフス

1000

発疹チフス シラミ〔蚤〕媒介と明示された- ブリル(氏)病 流行性発疹チフス シラミ媒介チフス	シラミの媒介と明示された- タバルデロ(メキシコ型) 戦争チフス* 飢餓チフス*
---	---

107

108

101

発疹熱及びその他のノミ媒介の地方流行性発疹チフス様疾患

1010

(ネズミ系)

発疹熱 ノミ〔蚤〕媒介と明示された- ブリル(氏)病 地方流行性発疹チフス様疾患 ノミ媒介の発疹チフス ネズミ〔鼠〕型発疹チフス	ノミ媒介と明示された- タバルデロ(メキシコ型) 満洲チフス(満洲熱) 二週間熱
---	---

110

I 伝染病及び寄生虫病

25

三桁日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

製表
符号

0962

102

ブリル病(シラミ又はノミ媒介の発疹チフスとして特記されないもの)

1020

0963

性質不明のブリル(氏)病
100, 101に分類されないブリル(氏)発疹チフス

103

メキシコ発疹チフス(ノミ又はシラミ媒介として特記されないもの)

1030

0964

性質不明のメキシコ発疹チフス
性質不明のタバコデロ
100-101に分類されないメキシコ(型)発疹チフス

104

ダニ媒介の発疹チフス様疾患

1040

0966

(アフリカ)ダニ[蝨]咬熱
ダニ媒介の発疹チフス様疾患
ブートヌーズ熱
ロッキー山紅斑熱
サン・パウロ熱

105

恙虫病及びその他のコダニ媒介の発疹チフス様疾患

1050

0968

つつがむし[恙虫]病(熱)
日本河川熱*
日本洪水熱*
コダニ[小蝨]媒介の発疹チフス
叢チフス

106

塹壕熱

1060

塹壕熱
ウォーリン熱
五日熱*

107

詳細不明の発疹チフス様疾患

1070

発疹チフス様疾患 NOS
上記に分類されない発疹チフス

108

その他のリケッチア病

1080

キュー-[Q]熱
Rickettsialpox
100-107に分類されないその他のリケッチア病

マ ラ リ ア (110-117)

110

三日熱マラリア(良性三日熱)

1100

良性三日熱(マラリア)(病) 三日熱原虫重複感染の毎日熱
三日熱間歇熱 重複三日熱
三日熱マラリア

08)

れた-
コ型)

ス様疾患

型)

三桁日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

三桁日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

111	四日熱マラリア(四日熱) 四日熱マラリア(熱) 四日熱原虫重複感染の毎日熱 重複四日熱	1110
112	熱帯熱マラリア(悪性三日熱) 熱帯熱マラリア(悪性三日熱) 夏秋(型)マラリア 持続(型)マラリア	1120
113	卵形三日熱マラリア 卵形マラリア 卵形原虫熱 卵形三日熱(マラリア)	1130
114	混合感染マラリア 二種以上のマラリア原虫による感染 混合感染マラリア	1140
115	黒水熱 黒水熱 血色素尿性黄疸熱 マラリア性血尿	1150
116	その他及び詳細不明のマラリア マラリア(熱) NOS おこり(熱)* 瘧疾(熱)* 湿地熱* 泥沼熱* 型不明のマラリア(熱) 心臓性 脳脊髄性 再発性	1160
117	再発接種マラリア 再発接種マラリア	1170

その他の伝染病及び寄生虫病 (120-138)

120	リーシュマニア病 120.0 内臓をおかすもの(カラ・アザール) ダムダム熱 カラ・アザール インディアン 小見様 地中病 黒色病	1200
	マラリア性: 液 血質痢炎 赤肝脾巨過 (臓) 症熱 脾高	
	黒熱帯巨脾症 リー[レイ]シュマニア病: 内臓性 小見様 地中病	

121

122

123

123. a

I 伝染病及び寄生虫病

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

製表
符号

1110

120.1

皮膚をおかすもの(東方腫)

アレックス腫
バグダッド腫
デリー腫

皮膚のリー[レイ]シュマニア病
東方腫
ウタ病[Uta]

1201

1120

120.2

粘膜、皮膚をおかすもの(アメリカ・リーシュマニア病)

エスパンディア
アメリカ型リー[レイ]シュマニア病
ブラジル型リーシュマニア病
粘膜、皮膚をおかすリーシュマニア病

1202

1130

120.3

その他

リー[レイ]シュマニア病 NOS

1203

121

トリパノソーマ病

1140

121.0

アフリカ・トリパノソーマ病(睡眠病)

(アフリカ)睡眠病
トリパノソ[ゾ]ーマ病
アフリカ(型)
ガムビア(型)
ロデシア(型)

1210

1150

121.1

南アメリカ型トリパノソーマ病(シャガス病)

ブラジル(型)トリパノソ[ゾ]ーマ病
シャガス病
南アメリカ(型)トリパノソーマ病

1211

1160

121.2

その他

トリパノソ[ゾ]ーマ病 NOS

1212

122

その他の原虫病

1170

122.0

コクシジウム病

コクシジウム病(全身性)(各部位)

1220

122.1

トクソプラズマ病

全身性トクソプラズマ感染
トクソプラズマ病

1221

122.2

その他の原虫病

100-122.1に分類されない原虫によるその他の疾患

1222

123

住血吸虫病

1200

123. a

日本住血吸虫病

1232

123.2

肺をおかすもの(日本住血吸虫病)

日本住血吸虫寄生
肺性:
ビルハルツ病
住血吸虫病

リア
リア
リア

ニア病:

I 伝染病及び寄生虫病

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

三桁日本
基本分類四桁分類

123. b		その他	製表 符号	126
	123.0	膀胱をおかすもの(<i>S. haematobium</i> 病) 膀胱性: ビルハルツ病 住血吸虫病	1230	
	123.1	腸をおかすもの(マンソン住血吸虫病) マンソン住血吸虫寄生 腸性: ビルハルツ病 住血吸虫病	1231	127
	123.3	その他及び型不明の住血吸虫病 ビルハルツ病: NOS * 123.0-123.2以外のもの 住血吸虫寄生: NOS * 123.0-123.2以外のもの 住血吸虫病: NOS * 123.0-123.2以外のもの	1233	128 129
124		その他の吸虫病		
	124.0	肝吸虫病 肝吸虫病 肝蛭病 肝ジストマ 窠形二口虫病 吸虫類による胆汁性硬変症	1240	130 130.0
	124.1	肺吸虫病 肺吸虫病 肺ジストマ	1241	130.1
	124.2	その他 ジストマNOS* 吸虫病NOS* 腸のジストマ エキノストロブ病[エキノスト- ミアージス] ファッションラ病	1242	130.2
125		胞虫病 ヘテロフィエス病 124.0-124.1に分類されない その他の吸虫病	1250	130.3
		胞虫症(各部位) 胞虫囊(各部位) エヒ[キ]ノコックス胞虫(症) 胞虫(囊)病 胞虫囊腫(各部位) 大条[條]虫寄生症 エヒ[キ]ノコックス条虫寄生症		

[註] 本項は妊娠の胞状奇胎(648.1)を含まない。

I 伝染病及び寄生虫病

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表 符号	1230	1231	1233	1240	1241	1242	1250
	126						
		127					
			128				
				129			
					130		
					130.0		
						130.1	
							130.2
							130.3

その他の条虫病

囊尾虫病(各部位)
裂頭条(條)虫病
寄生:
マンソン裂頭条虫
無鉤条虫
有鉤条虫
その他の条虫

スバルガヌム病
条虫病NOS
虫(寄生)
真田虫病

糸状虫病

糸状(虫)性象皮病
糸状虫性乳糜尿
糸状虫寄生

フィラリア(病)
リンパ(淋巴)陰囊

[註] 本項は乳糜尿NOS(789.3)を含まない。

旋毛虫病

旋毛虫寄生
旋毛虫病

鉤虫病(十二指腸虫病)

十二指腸虫病
鉤虫病(感染)
若菜病*

坑夫病性貧血
アメリカ十二指腸虫病
有鉤虫病

その他の混合及び詳細不明の蠕虫病

蛔虫病

蛔虫病
蛔虫寄生

蟯虫病

蟯虫病(症)
線虫病
蟯虫感染
線虫感染

腸管内混合蠕虫病

混合蠕虫寄生NOS
123-130.1の内2種以上混合寄生するもの

その他

エソファゴストーマ病
ギネア虫病
糞線虫病
(東洋)鞭虫病*
蠕虫病*

腸内虫*
123-130.2に分類されな-
いその他の寄生虫寄生

ス病
1に分類されない-
虫病

部位)
生症
ックス条虫寄生症

I 伝染病及び寄生虫病

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

131

皮膚真菌病

- 黄渦状癬
- エビデルモフィトージス(感染)(各部位)
- 頭癬
- 寄生性毛疥
- ケリオンツェルギー
- 紅色陰癬
- 小芽胞菌症
- 小水疱性白癬
- タムシ(輪癬)(あらゆる状態)
- 癩風
- デルマトフィトージス
- トビー瘡痒症
- 頭部断髪性疱疹
- 頭部浅在性白癬
- シラクモ
- 白癬症(各部位)
- 白癬(性)肉芽腫
- 真菌による皮膚のすべての部位の感染
- 爪黄癬
- ミズムシ(水虫)*

1310

132

放線菌病

- アクチノミコーゼ
- 放線菌病(各部位)(各状態)

1320

133

コクチジオイデス病

- コクチジオイデス病
- コクチジオイド(性)肉芽
- コクチジオイデム真菌症

1330

134

その他の真菌感染

134.0

酵母菌病

- 酵母菌病[症]
- 慢性皮膚播列
- 性皮膚播列
- 性皮膚播列
- 酵母菌病[症]
- 南米
- 北米
- ギルクリスト病
- ブラジル酵母菌による寄生
- 皮膚炎性酵母菌による寄生

1340

134.1

クリプトコックス症(トルラー症)

- クリプトコックス症
- ブッシュブシュケー病
- ヨーロッパ(性)酵母菌症
- クリプトコックス・ネオフォルマンスによる感染
- トルラー脳[髄]膜炎
- トルラー病
- トルロージス

1341

134.2

ヒストプラズマ病

- ヒストプラズマ病[症]
- ヒストプラズマ・カプスラツムによる感染

1342

134.3

鵝口瘡菌病

- 鵝口瘡菌病
- モニリアーシス[Moniliasis]
- 気管支[枝]モニリアーシス
- オイジウム・アルピカンスによる感染
- ミュゲー[Muguet]
- 糸状菌性口内炎
- オイジオミコーシス
- 寄生性の口腔の疾患又は口内炎
- 鵝口瘡(すべての部位)
- 白口瘡
- 口腔酵母菌症

1343

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

134.4

134.5

135

136

138

138.0

138.1

I 伝染病及び寄生虫病

三桁日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

製表
符号

1310

134.4

スポロトリコージス

スポロトリコーム・シェンキールによる感染
スポロトリコージス
骨内粘 臓膜

スポロトリコージス
表皮性
播種性
リンパ〔淋巴〕性

1344

134.5

その他

アスペルギローシス
アスペルギールス病
クロモミコージス
ゲオトリコージス
レプトトリコージス
マツラ病〔足〕

足菌腫
糸状菌症(ミコーゼ)NOS*
リノスポロジカム病
真菌病〔症〕NOS*
131-134.4に分類されない
その他の真菌性感染

1345

135

疥癬

疥癬NOS(各部位)
ヒゼン*
湿性疥癬

膿疱性疥癬
ブク・ノールウェー疥癬
ノールウェー疥癬

1350

136

シラミ症

シラミ〔虱〕症〔病〕
衣虱〔虱〕病
陰虱〔虱〕病
毛虱〔虱〕病

1360

137

その他の節足動物の寄生

蚤齧症
床虫刺齧症

南京虫刺齧症
イエダニ刺齧症

1370

138

その他の伝染病及び寄生虫病

138.0

ベック類肉腫

ベック(氏)病
ベックの類肉腫
ベック粟粒類狼瘡
シャウマン良性リンパ〔淋巴〕肉芽腫

ダリエー・ルーシーの類肉腫
類肉腫病〔症〕
類肉腫(各部位)
葡萄膜耳下腺熱〔Uveoparotid fever〕

1380

138.1

その他

バルトネラ病
キャ〔カ〕リオン(氏)病
第 四 病熱
粟 粒 蛆 病熱
オ ロ ヤ 熱

ライテル(氏)病
鼻硬腫
ベルー症
001-138.0に分類されない
その他の伝染病及び寄生虫病

1381

1320

1330

1340

1341

1342

1343

トージス
症疹
腫(部位)
腫のすべての
癬
虫)*

米
米
病
菌による寄生
菌による寄生

膜炎
病
ス

ージス
の疾患又は口内炎
すべての部位)
病症

II 新 生 物

新生物に関する各項の内容例示中には、主として、悪性新生物、良性新生物とのみ記されているから悪性新生物、良性新生物に何が含まれるかについては次の説明を参照すること。

悪性と認められる新生物

140—199項は悪性新生物を部位によつて分類したものである。以下に掲げたものは悪性と認められる各種の新生物であり、記載された部位に従つて140—199項の内のそれぞれ該当した部位の分類符号を附すること。(以下アイウエオ順)

悪性黒色腫

悪性エナメル癌 [Adamantinocarcinoma]

悪性新生物

悪性卵胞腫

ウィルムス(氏)腫瘍

黄色肉腫

横紋筋肉腫

過誤芽腫 [Hamartoblastoma]

過誤腫 [Hamartoma]

芽腫 [Blastoma]

芽細胞腫 [Blastocytoma]

肝腫瘍 [Hepatoma] ★

癌(各型)

癌性と明示された各状態

癌肉腫

基底細胞癌

稀[寡]突起神経芽細胞腫

[Oligodendroblastoma]

稀突起神経膠腫 [Oligodendroglioma]

稀突起神経細胞腫 [Oligodendroma] ★

胸腺腫

筋(肉)肉腫

グラウィツ(氏)腫瘍

クルケンベルグ(氏)腫瘍

血管線[織]維肉腫

血管芽細胞腫

血管肉腫

交感神経芽細胞腫

硬癌

睾丸奇形[畸型]腫(囊腫性) ★

睾丸胚芽腫 ★

合胞腫 [Syncytioma]

黒色芽細胞腫

黒色癌

黒色肉腫

黒色腫 ★

黒色上皮細胞腫

骨芽細胞腫

骨癌

骨髄肉腫

骨線維肉腫

骨軟骨癌肉腫

骨軟骨肉腫

骨軟骨粘液肉腫

骨肉腫

混合腫瘍 ★

脂肪筋肉腫

脂肪肉腫

脂肪粘液肉腫

周内皮細胞腫 [Peri-endothelioma]

周皮腫 [Perithelioma]

絨毛上皮腫

松果体[腺]芽細胞腫

松果体腫 ★

上皮腫

上皮性腫瘍 ★

神経芽細胞腫

神経癌

神経膠芽細胞腫

神経膠腫 ★

神経膠肉腫

神経細胞腫

神 經 上
 神 經 線 維
 神 經
 侵蝕性潰瘍(眼以外)
 腎
 腎 胚 芽
 砂 瘤 [Psa
 セミノーム [Serr
 星芒芽細胞腫 [Astr
 星芒細胞腫 [Astr
 星芒神経膠腫 [Astr
 精 芽 細
 脊 索 腫 [Cho
 脊 髓 管
 腺
 腺 筋 肉 腫 [Adenc
 腺 血 管
 腺 肉
 腺 皮 膚
 腺 扁 平 上
 線 維 芽 細
 線 維
 線 維 脂 肪
 線 維 上 皮
 線 維 内 皮
 線 維 軟 骨
 線 維 肉
 線 維 粘 液 肉
 中 皮 腫 [Mesot
 内 皮
 軟 骨 芽
 軟 骨
 乳 嘴 の ペー ジェ ッ ト ()
 乳 嘴
 乳 嘴 腺
 乳房のページェット()
 リンパ組織及び造血結
 200—205項にはリン
 カール(氏)
 菌状息肉症 [Mycosis
 形質細胞骨髄
 形質細胞

★印は良性と特記されないかぎり悪性として分類符号を附すること。

★印は良性と特記されないかぎり

新生物とのみ記されて
明を参照すること。

下に掲げたものは悪性
9項の内のそれぞれ該

[Syncytioma]

- 細胞腫
- 肉腫
- 細胞腫★
- 胞腫
- 胞腫
- 肉腫
- 肉腫
- 肉腫
- 肉腫
- 液肉腫
- 腫瘍★
- 肉腫
- 肉腫
- 皮肉腫
- eri-endothelioma]
- erithelioma]
- 皮腫
- 芽細胞腫
- 体腫★
- 腫瘍★
- 細胞腫
- 細胞腫
- 細胞腫
- 膠腫★
- 肉腫
- 胞腫

- 神 經 上 皮 腫
- 神 經 線 維 肉 腫
- 神 經 肉 腫
- 侵蝕性潰瘍(眼以外) [Rodent ulcer]
- 腎 腫 ★
- 腎 胚 芽 腫 ★
- 砂 瘤 [Psammocarcinoma]
- セミノーム [Seminoma]
- 星芒芽細胞腫 [Astroblastoma]
- 星芒細胞腫 [Astrocytoma] ★
- 星芒神経膠腫 [Astrogloma] ★
- 精 芽 細 胞 腫
- 脊 索 腫 [Chordoma] ★
- 脊 髓 管 瘤
- 腺 瘤
- 腺 筋 肉 腫 [Adenomyosarcoma]
- 腺 血 管 肉 腫
- 腺 肉 腫
- 腺 皮 膚 癌
- 腺 扁 平 上 皮 癌
- 線 維 芽 細 胞 腫 ★
- 線 維 癌
- 線 維 脂 肪 肉 腫
- 線 維 上 皮 腫
- 線 維 内 皮 腫 ★
- 線 維 軟 骨 肉 腫
- 線 維 肉 腫
- 線 維 粘 液 肉 腫
- 中 皮 腫 [Mesothelioma]
- 内 皮 腫 ★
- 軟 骨 芽 腫
- 軟 骨 癌
- 乳 嘴 の ペー ジ ャ ッ ト (氏) 病
- 乳 嘴 腫
- 乳 嘴 腺 癌
- 乳 房 の ペー ジ ャ ッ ト (氏) 病

リンパ組織及び造血組織の新生物

200-205項にはリンパ組織及び造血組織の新生物を含む。下記のもの本群に含まれる。

- カ - レ ル (氏) 病
- 菌状息肉症 [Mycosis fungoides]
- 形質細胞骨髓腫
- 形質細胞腫
- 骨髓血症 [Myelæmia]
- 骨髓細胞血症 [Myelocythæmia]
- 骨髓細胞腫
- 骨髓性白血病

- 肉 瘤
- 肉 腫 様 瘤 腫
- 肉 腫
- 肉腫性と明示された各状態
- 粘 液 線 維 肉 腫
- 粘 液 軟 骨 肉 腫
- 粘 液 肉 腫
- 脳室上衣芽細胞腫 [Ependymoblastoma] ★
- 脳室上衣腫 [Ependymoma] ★
- 脳髓芽細胞腫 [Medulloblastoma]
- 脳髓上皮細胞腫 [Medullo-epithelioma]
- 脳 様 腫 瘍
- 囊 状 肉 腫 (葉状を除く)
- 囊 腺 癌
- パンコースト(氏)腫瘍★
- パンコースト(氏)症候群★
- 肺 の 胚 芽 腫 ★
- 皮膚のページェット(氏)病
- 表皮癌 [Acanthoma]
- 副 腎 腫
- 分 離 芽 腫
- 分 離 腫
- ページェット(氏)病(乳房、乳嘴、皮膚)
- 平 滑 筋 肉 腫
- ポーウェン(氏)上皮腫
- 母 斑 癌
- 珙 瑯 癌 腫 [Adamantinocarcinoma]
- 毛 囊 上 皮 腫 [Tricho-epithelioma]
- 網 膜 芽 細 胞 腫
- 脈 絡 膜 上 皮 腫
- 脈 絡 膜 の 乳 嘴 腫 ★
- ユ - イ ン グ (氏) 腫 瘍
- リ ン パ [淋 巴] 上 皮 腫
- リ ン パ 管 肉 腫
- 類 癌

★印は良性と特記されないかぎり悪性と見なして分類符号を附すること。

骨 髄 緑 色 腫
 細 網 網 症
 細 網 内 皮 腫
 細 網 内 皮 症
 芽 状 菌 病
 芽状肉芽腫 [Granuloma fungoides]
 赤芽細胞腫 [Erythroblastoma]
 白 血 肉 腫
 白 血 病 (各 型)
 白血病性と明示された各状態
 白血病様疾患
 ホジ[ド]キン(氏)肉芽腫
 ホジ[ド]キン(氏)病

無 白 血 病 (各 型)
 無白血病性と明示された各状態
 リンパ[淋巴]芽細胞腫
 リンパ肉芽腫(鼠径、又は性病性を除く)
 リンパ球血症
 リンパ細胞腫
 リンパ腫
 リンパ腺腫
 リンパ肉腫
 リンパ緑色腫
 緑 色 腫
 緑 色 肉 腫

良性と認められる新生物

210-229項は良性新生物を部位によつて分類したものであるが、その中ある項は形態により分類されている。

以下に掲げたものは良性と見なして、記載された部位に従つて分類符号を附すること。

アレノblastoma [Arrhenoblastoma] ☆
 エナメル [珪瑯] 腫 ☆
 横紋筋腫 (前立腺を除く)
 円 柱 腫 ☆
 海 綿 状 母 斑 ☆
 滑 液 囊 腫 ☆
 褐 色 細 胞 腫 ☆
 管 状 腫
 管 状 囊 腫
 管 状 囊 腺 腫
 含 齒 囊 腫
 痛 様 腫 ☆
 鬼胎(凝血、卵管を除く) [Mole] ☆
 嚢状奇形[畸型]腫 (睾丸を除く) ☆
 巨細胞腫瘍 [Giant cell tumor] ☆
 筋 脂 肪 腫
 筋 腫 (前立腺を除く) ☆
 筋 線 [織] 維 腫
 クローム親和細胞腫 ☆
 血 管 脂 肪 腫
 血 管 腫 ☆
 血 管 線 維 腫
 血 管 線 維 症
 血 管 内 皮 腫 ☆
 血 管 軟 骨 腫

血管リンパ[淋巴]管腫
 膠 質 腫 ☆
 睪丸間質細胞腫瘍 ☆
 骨 腫
 骨 髄 腫 ☆
 骨 髄 様 腫 瘍 ☆
 骨 性 腫 瘍 ☆
 骨 線 維 腫
 骨 線 維 軟 骨 腫
 骨 軟 骨 腫
 骨 軟 骨 症
 骨 軟 骨 粘 液 腫
 骨 粘 液 軟 骨 腫
 骨 瘤
 サンプソン(氏)囊腫
 砂 腫 [Psammoma]
 糸球[毬]腫 [Glomus tumor]
 ジスゲルミノーム [Dysgerminoma] ☆
 シュワソン(氏)鞘腫
 子宮内膜症
 子宮内膜腫 [Endometrioma]
 脂 肪 筋 腫
 脂 肪 腫
 脂 肪 腫 瘍
 脂 肪 線 維 腫

☆ 印は悪性と特記されないかぎり良性と見なして分類符号を附すること。

脂 肪 粘
 齒 肉
 齒
 絨 毛 様
 神經膠神經腫 [Glic
 神 經 鞘
 神經節細胞腫 [Gan
 神 經 線
 神 經 粘
 セ メ ン
 線 維 管
 線 維 筋
 線 維 骨
 線 維 骨 軟
 線 維 脂
 線 維 腫 (前立腺
 線 維 神
 線 維 腺
 線 維 軟 骨
 線 維 軟
 線 維 粘
 線 維 様
 線 維 様
 腺 筋
 腺 筋 症 [Ad
 腺腫 (副甲状腺、下垂
 腺 線 維
 腺 粘 液
 腺 囊
 造 骨 性
 息 肉 (鼻茸
 多 発 性 血 管
 胎 児 性 脂
 脱 落 膜
 チョコレート腫 [Ch
 頭蓋咽頭腫 [Craniog
 軟骨過生症 [Ecchon
 軟 骨
 軟 骨 線
 軟 骨 粘
 軟性線維腫 [Fibrosu
 乳嘴腫 (脈絡膜、甲状
 乳 嘴 腺 腫

☆ 印は悪性と特記され

性質不詳の新生物

230—239項は、良性か悪性か別不明の新生物を部位によつて分類したものである。以下のものは記載不適當又は不詳の新生物であり、記載された部位に従つてそれぞれ該当した分類符号を附すること。

新 生 物	腫 瘍 の 新 生
腫	瘍

口腔及び咽頭の悪性新生物 (140—148)

三 行 日 本 国 際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

140

口唇の悪性新生物

1400

口唇の悪性新生物
口唇粘膜の悪性新生物
口唇癌(腫)
口唇粘膜癌

[註] 本項は口唇の皮膚の悪性新生物(190—191)を含まない。

145

146

147

141

舌の悪性新生物

1410

舌の悪性新生物

142

唾液腺の悪性新生物

142.0

唾液腺の混合腫瘍
(悪性)唾液腺混合腫瘍

1420

142.1

その他

1421

悪性新生物：
唾液腺
耳下腺

悪性新生物：
舌下腺
顎下腺

150

143

口底の悪性新生物

1430

悪性新生物：
口(腔)底
口基底
下歯肉〔齦〕

口(腔)底癌(腫)
口基底癌(腫)

151

144

その他の部位及び部位不明の口腔の悪性新生物

1440

口腔癌
口蓋癌
悪性新生物：
歯槽(突起又は隆起)
頬腔 NOS
頬粘膜
(上)歯肉〔齦〕
頬内 部

悪性新生物：
口蓋
軟口蓋
硬口蓋
口蓋垂
悪性歯肉〔齦〕腫
悪性エプーリス

152

II 新 生 物

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

145 中部咽頭の悪性新生物 1450

悪性新生物： 中部咽頭痛
中部咽頭 扁桃(腺)痛
扁桃(腺)

146 上部咽頭の悪性新生物 1460

悪性新生物： 悪性新生物：
上部咽頭 鼻咽腔
鼻咽頭 アデノイド組織

147 下部咽頭の悪性新生物 1470

下部咽頭痛
悪性新生物：
下部咽頭(壁)
後輪状軟骨部
梨状窩

148 咽頭の悪性新生物(詳細不明のもの) 1480

咽頭の悪性新生物
のどの悪性新生物 *

消化器及び腹膜の悪性新生物 (150—159)

150 食道の悪性新生物 1500

食道の悪性新生物
食道癌

151 胃の悪性新生物 1510

悪性新生物： 胃穿孔癌
胃噴門 胃噴門底性
胃噴門穿孔性

152 小腸の悪性新生物(十二指腸を含む) 1520

悪性新生物：
十二指腸 腸腸腸腸
十空廻小

製表
符号

1400

1410

1420

1421

1430

1440

のである。以下
れぞれ該当した

腫
ス

三 行 日 本 国 際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

153

大腸の悪性新生物(直腸を除く)

1530

悪性新生物：
虫 垂 突
廻 起 部
結 盲 腸
盲 結 頭
大 結 腸 腸

悪性新生物：
上 肝 結 腸
肝 腸 結 腸
横 行 結 腸
脾 行 結 腸
下 行 結 腸
S(字)状結腸(部)

154

直腸の悪性新生物

1540

悪性新生物：
直 腸
直腸肛門部(肛門を除く)

悪性新生物：
直腸S(字)状結腸部(移行部)
直 腸 癌

[註] 本項は肛門の悪性新生物(191)を含まない。

155

胆路及び肝臓の悪性新生物(原発部位の場合)

1550

悪性新生物：
フ ェ ー テ ル (氏) 乳 頭
胆 管
胆 路
胆 嚢 管
胆 管 嚢

悪性新生物：
肝臓(原発部位の場合)
輸 胆 管
肝 臓 癌 (原 発 性)

156

肝臓の悪性新生物(続発性及び詳細不明)

1560

肝 臓 癌 (続 発 性 又 は NOS)
原発性か続発性か不明の肝臓の悪性新生物
原発部位の明らかでない続発性の肝臓の悪性新生物

[註] 本項は原発性新生物の部位が判明している場合は一次死因の分類としては用いない。又、部位の判明している原発性新生物の存在する場合は一次疾病の分類には用いない。

157

膵臓の悪性新生物

1570

島細胞の悪性新生物
膵臓の悪性新生物
膵 臓 癌

158

腹膜の悪性新生物

1580

悪性新生物：
腹 膜
腸 間 膜
網 膜
大 網
小腸及び結腸間膜
癌性又は悪性の腹水又は腹膜炎

三 行 日 本 国 際
基本分類 四桁分類 四桁分類

159

160

161

162

163

II 新 生 物

39

三 行 日 本 国 際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

製表
符号

1533

159

詳細不明の消化器の悪性新生物

1590

胃 腸 痛
悪性新生物：
腹部臓器
消化器又は消化管 NOS*

呼吸器系の悪性新生物 (160—165)

1540

160

鼻、鼻腔、中耳及び副鼻腔の悪性新生物

1600

悪性新生物：
鼻 腔
上 顎 洞〔竇〕
鼻 中 隔
鼻 NOS
鼻 内
副鼻腔〔各部位〕

悪性新生物：
耳 管〔欧氏管〕
前 頭 洞〔竇〕
篩 骨 蜂 窠〔窩〕
咽 頭 鼓 室 管
中 内 耳

〔註〕本項は鼻の皮膚、耳の皮膚、外耳(190—191)、鼻骨(196)、耳道及び耳NOSの悪性新生物(199)を含まない。

1550

161

喉頭の悪性新生物

1610

喉 頭 痛
輪 状 軟 骨 痛
披 裂 軟 骨 痛
悪 性 新 生 物 ：
輪 状 軟 骨
披 裂 軟 骨

悪性新生物：
会 声 門
声 帶
喉 頭

1560

162

肺及び気管、気管支の悪性新生物(原発と明示されたもの)

1620

肺 悪 性 新 生 物 痛 物 ：
気 管 支〔枝〕 原発と明示されたもの
肺 胸 〔肋〕 膜 管 管：
気 管 支 NOS
原 発 性
気管支原発性痛
パンコースト(氏)腫瘍(良性と明示されないもの)

1570

163

肺及び気管支の悪性新生物(原発、続発の別不明)

1630

悪性新生物：
気 管 支〔枝〕 原発、続発の別不明のもの
肺 胸 〔肋〕 膜

1580

製表符号
1533
1540
1550
1560
1570
1580
腸部(移行部)
の場合)
の分類としては
る場合は一次疾

三 術 日 本 国 際
基本分類 四術分類 四術分類

製表
符号

164

縦隔の悪性新生物

1640

悪性新生物：
縦隔洞[竇]
胸腔臓器(詳細不明のもの)

165

胸部臓器の悪性新生物(続発性)

1650

悪性新生物：
気管支[枝]管
肺 洞 [竇] 続発性と明示されたもの
胸膜
呼吸器 NOS

[註] 本項は原発性新生物の部位の判明している場合は一次死因の分類としては用いない。又、部位の判明している原発性新生物の存在する場合は一次疾病の分類には用いない。

乳房及び性尿器の悪性新生物 (170—181)

170

乳房の悪性新生物

1700

悪性新生物：
乳房腺癌
乳癌
乳房のページェット(氏)病
乳嘴のページェット(氏)病

171

子宮頸の悪性新生物

1710

子宮頸(部)の悪性新生物
子宮腔部の悪性新生物
子宮頸(部)癌

172

子宮体の悪性新生物

1720

子宮体の悪性新生物
子宮底の悪性新生物
子宮体(部)癌

173

子宮のその他の部位の悪性新生物(絨毛上皮腫を含む)

173. a

絨毛上皮腫

1730

絨毛上皮腫
絨毛癌腫
悪性脱落膜腫
悪性シンチチオーマ[合胞腫]
悪性絨毛膜上皮腫
脈絡膜上皮腫
胎盤の悪性新生物

三 術 日 本 国 際
基本分類 四術分類 四術分類

173. b

174

175

175. a

175. b

176

177

178

179

II 新 生 物

41

製表
符号

三 術 日 本 国 際
基本分類 四術分類 四術分類

製表
符号

1640

173. b

そ の 他

子宮線(織)維腫の悪性変化
子宮筋細胞肉腫
悪性筋腫

1731

174

詳細不明の子宮の悪性新生物

1740

1650

子宮の悪性新生物(部位不明のもの)(詳細不明のもの)
子宮癌

175

卵巣、卵管及び広皺襞の悪性新生物

175. a

卵巣の悪性新生物

1750

卵 巣：
癌腫性腺腫
悪性肉腫
悪性充実性奇形(畸型)腫
悪性ジスゲルミノーム

卵 巣：
悪性アレノプラストーム
悪性新生物
悪性奇形腫(囊状)

分類としては
場合は一次疾

175. b

そ の 他

1751

悪性新生物：
広皺襞(広靱帯)
(輸)卵管
子宮靱帯
ラッパ管

奇形(畸型)腫(囊状)：
広皺襞
卵管
子宮靱帯
ラッパ管

1700

176

その他及び詳細不明の女性性器の悪性新生物

1760

外陰上皮腫
悪性新生物：
バルトリン(氏)腺
陰挺(核)
陰唇(大)(小)
部位不明の女性性器
子宮傍結合組織

悪性新生物：
陰部
陰腔
外陰部
170-175に分類されない女性-
性器のその他の部位

ト(氏)病
ト(氏)病

1710

177

前立腺の悪性新生物

1770

前立腺(摂護腺)の悪性新生物
前立腺癌

1720

178

睾丸の悪性新生物

1780

睾丸の悪性新生物
セミノーム
精芽細胞腫

スペルマトプラストーム
睾丸奇形(畸型)腫(囊状)

1730

179

その他及び詳細不明の男性性器の悪性新生物

1790

悪性新生物：
陰 茎 莖
陰 莖 莖
副 包 莖
精 莖 莖
皮 莖
囊

悪性新生物：
精 索
部位不明の男性性器
177-178に分類されない男性性器の-
その他の部位
煙突掃除人癌

(次頁に続く)

42 II 新 生 物
 三 術 日 本 国 際
 基本分類 四術分類 四術分類

三 術 日 本
 基本分類 四術分類

陰囊上皮腫
 陰茎上皮腫
 走錘精紡工の痛

180 腎臓の悪性新生物 1800

腎臓の悪性新生物
 腎臓のエンブリオーム
 腎臓の奇形(畸型)腫
 ウィルムス(氏)腫瘍又は新生物

副腎腫
 グラウイッツ(氏)腫瘍
 (輸)尿管の悪性新生物
 腎臓の悪性乳頭腫

193

181 膀胱及びその他の泌尿器の悪性新生物 1810

膀胱乳頭腫〔乳頭腺癌〕
 悪性新生物：
 膀胱(括約筋)
 尿管〔胎児尿管〕
 尿道
 その他の泌尿器

その他及び部位不明の悪性新生物 (190—199)

194

190 皮膚の悪性黒色腫 1900

悪性黒色腫：
 皮膚腫
 191に分類される各部位
 黒色腫NOS
 悪性色素(性)母斑
 黒色肉腫(眼を除く)

195

191 その他の皮膚の悪性新生物 1910

皮膚腫
 上皮腫NOS
 頸部上皮腫
 皮膚のページェット(氏)病
 ビッチ病(陰囊を除く)
 ウルクス・ローデンスNOS
 タール病(陰囊を除く)
 エックス〔X〕線癌
 悪性新生物：
 腹股
 腋窩
 壁門窩部

悪性新生物：
 背頰部
 頰部
 眉毛部
 眼前額部
 膝部
 陰被髪部
 腋窩部
 性器以外の皮膚

196

192 眼の悪性新生物 1920

グリオーム〔膠腫〕
 グリオーマ
 神経膠腫
 肉色肉腫

脈絡膜、視神経、網膜及び眼の各部位
 (眼瞼を除く)

197

II 新 生 物

43

製表
符号

三 術 日 本 国 際
基本分類 四術分類 四術分類

神 經 上 皮 細 胞 腫
緑 色 腫 物
悪 性 新 生 物
グリオームを意味する新生物
網 膜 芽 細 胞 腫
脈 絡 膜 乳 頭 腫

脈絡膜、視神経、網膜及び眼の各部
位(眼瞼を除く)

製表
符号

1800

193

脳及びその他の神経系の悪性新生物

1930

悪性新生物:

脳
脳 膜
髄 膜
神経(視神経を除く)
脊 髄
脊 髓
馬 尾
交 感 神 經 系
神経膠(質)腫(グリオーム)-
(良性と明示されないもの)
脳 髄 芽 細 胞 腫

メデュロblastoma
神 經 上 皮 腫
神 經 膠(質)腫
稀[寡]突起神経芽細胞腫
オリゴデンドロblastoma
(神経)海綿芽細胞腫
脊 髓 肉 腫
星 芒 芽 細 胞 腫
星 芒 細 胞 腫
脳室上皮腫(脳室上皮細胞腫)
その他眼の神経膠腫以外の神経-
膠腫を意味する腫瘍

[註] 本項は視神経、網膜及び眼の悪性新生物(192)を含まない。

1810

194

甲状腺の悪性新生物

1940

甲状腺の悪性新生物
悪性甲状腺腫
ヒュルトル(氏)細胞腫瘍

1900

195

その他の内分泌腺の悪性新生物

1950

悪性新生物:
副 腎[腎上体]
松 果 体[腺]
胸 腺
(脳)下 垂 体
その他の内分泌腺

(脳)下垂体前葉(腺)癌
松果体[腺]芽細胞腫
ピネアローム
ピネアロblastoma
副腎皮質交感神経腫瘍

[註] 本項は腺腫の悪性新生物(157)を含まない。

1910

196

骨の悪性新生物(顎骨を含む)

1960

エナメル上皮癌(腫)
珐瑯(質)癌(腫)
ユーイング(氏)腫瘍
骨 芽 細 胞 腫
骨 肉 腫

悪性新生物:
顎 骨(上、下)
鼻 骨
そ の 他 の 骨

1920

197

結合組織の悪性新生物

1970

線[織]維 肉 腫
結合組織の悪性新生物
結締織の悪性新生物
筋肉の悪性新生物

筋芽細胞腫(舌を除く)
筋(肉)肉腫
横紋筋肉腫

眼の各部位

三 術 日 本 国 際
基本分類 四術分類 四術分類

製表
符号

三 術 日 本 国 際
基本分類 四術分類 四術分類

198

リンパ節の続発性及び詳細不明の悪性新生物

1980

リンパ〔淋巴〕節〔腺〕：

- 腋 窩
- 頸 部
- 鼠 蹊
- 腸 間 膜
- 腸 間 膜
- 縦 隔 洞〔竇〕
- 後 腹 膜
- その他あらゆる全身

の続発性又は原発、続発の別不明の悪性新生物

〔註〕本項は続発性と明示されたリンパ節〔腺〕の悪性新生物のすべてを含む。原発性新生物の部位が判明している場合には一次死因の分類として本項を用いない。また部位の判明している原発性新生物が存在する場合は一次疾病の分類として用いない。原発又は続発の別不明のリンパ節の悪性新生物は200-202項に記載されたものを除き、すべての部位のものが本項にはいる。又本項は原発性と明示されたリンパ節の悪性新生物(200-202)を含まない。

199

その他及び部位不明の悪性新生物

1990

- 癌 原 病
- 癌 播 種 性 癌
- 全身性悪性新生物病

部位不明のもの

- 全身性肉腫
- 腹腔内癌
- 多発性癌(腫)
- 肉 腫

部位不明のもの

- 腹部
- 腕
- 上肢
- 耳 道
- 耳 NOS
- 外 耳 道
- 手 心
- 脚 腕
- 頸 骨 盤 臓 器
- 骨 心 耳 直 腸 腔 中 隔
- 肩
- その他及び140-205に分類されない部位

肢 の 悪 性 新 生 物 NOS

〔註〕本項は造血組織の悪性新生物(200-205)を含まない。

リンパ組織及び造血組織の新生物 (200-205)

200

リンパ肉腫及び細網肉腫

〔註〕本項はリンパ節〔腺〕の原発性悪性新生物を含むが、リンパ節の続発性及び原発、続発の別不明の新生物(198)を含まない。

200.0

- 細網細胞肉腫
- 細網(細胞)肉腫

2000

201

202

203

204

200.1

200.2

202.0

202.1

204.

204

II 新 生 物

45

三 桁 日 本 国 際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

製表
符号

1980

不明の悪性新

べてを含む。原
として本項を用
場合は一次疾病
の悪性新生物は
本項にはいる。
02)を含まない。

1990

部位不明のもの

05)

の続発性及び原発、

2000

三 桁 日 本 国 際 基本分類 四桁分類 四桁分類	製表 符号
200.1	リンパ肉腫 リンパ〔淋巴〕肉腫(すべての部位)
200.2	その他の類リンパ組織の原発性悪性新生物 緑 色 腫 緑 色 肉 腫 白(色)肉 腫 リンパ〔淋巴〕緑色腫 脾臓の悪性新生物NOS 200.0—200.1以外のもので原発性と明示されたあらゆる部位及び部 位不明のリンパ腺の悪性新生物
201	ホジキン病 ホジ〔ド〕キン(氏)病 ホジキン氏: 肉 芽 腫 リンパ〔淋巴〕芽細胞腫 リンパ芽球症 リンパ 腫 仮性白血病
202	その他のリンパ腫(細網症) 202.0 巨大濾胞リンパ腫(ブリル・ジンメル病) 巨大濾胞リンパ〔淋巴〕腫 リンパ濾胞細網症〔網状(組織)症〕 ブリル・ジンメル(氏)病 202.1 そ の 他 骨髄の良性又は性質不明の新生物 悪性細網症〔網状(組織)症〕 細網内被腫 細網内被症 200—202.0に分類されない細網症(リンパ腫)
203	多発骨髄腫(形質細胞腫) 多発(性)骨髄腫(症) ミエロチトーム カーレル(氏)病
204	白血病及び無白血病 〔註〕本項は無顆粒球症(297)を含まない。 204.0 リンパ性白血病 白血病、無白血病、白血球症、ロイコーゼ: リンパ〔淋巴〕(球)性(急性)(慢性) リンパ芽球性(急性) リンパ芽細胞性(急性) リンパ球性(急性)(慢性) リンパ球血症〔Lymphocythæmia〕 204.1 骨髄性白血病 白血病、無白血病、白血球症、ロイコーゼ: エオジン(嗜)好性細胞性(急性) 塩基(嗜)好性細胞性(急性) 骨髄芽細胞性

(次頁に続く)

II 新 生 物

三 桁 日 本 国 際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

白血病、無白血病、白血球症、ロイコーゼ：
骨髄性(急性)(慢性)
骨髄様(急性)
骨髄血症*[Myelæmia]
骨髄細胞血症 [Myelocythæmia]
白血球減少性骨髄症

204.2

単核細胞性白血病

2042

白血病、無白血病、白血球症、ロイコーゼ：
単核細胞性(急性)
単芽細胞性(急性)

204.3

急性白血病(型不詳のもの)

2043

型不詳の急性
白血球病
無白血球症
白血球症
ロイコーゼ

204.4

その他及び性質不明の白血病

2044

型不詳の非急性
白血球病
無白血球症
白血球症
ロイコーゼ
急性赤血病[Acute erythræmia]
急性赤芽球症*
急性赤血球過多症*
ディ・グリエルモ(氏)病

205

菌状息肉症

2050

菌(茸)状息肉症 [Mycosis fungoides]
菌状(肉芽)腫 [Granuloma fungoides]

良 性 新 生 物 (210—229)

210

口腔及び咽頭の良性新生物

2100

良性新生物：
口腔 NOS
舌
歯肉(齦)(隆起)
頬部(内部)
口(腔) 底蓋
口硬 口蓋蓋
軟 口蓋蓋
唾液腺
顎の軟部組織
口蓋垂
口蓋垂

良性新生物：
後輪狀軟骨部
梨状窩
咽頭
鼻咽頭
口唇
アデノイド組織(ポリープを
除く)
扁桃(腺)
歯牙腫(珥瑯腫を除く)
舌の横紋筋腫
舌の筋芽細胞腫
悪性と明示されないエプーリス

213

214

215

211

その他の消化器系の良性新生物

2110

良性新生物：
(輸)胆管(すべての部位)
食道
十二指腸
胆嚢(胆管を含む)
腸(各部位)

良性新生物：
腸間膜
直腸
腹膜(腹膜腔を含む)
膈
胃(噴門、胃底、幽門を含む)

216

三 桁 日 本 国 際
基本分類 四桁分類 四桁分類

212

213

214

215

216

II 新 生 物

三 桁 日 本 国 際
基 本 分 類 四 桁 分 類 四 桁 分 類

製 表
符 号

製 表
符 号

良 性 新 生 物:
肝 臟 (胆 管 を 含 む)
網 膜 (大、小)
そ の 他 の 消 化 器

[註] 本項は脾臓の島細胞腫瘍(270)を含まない。

2042

212

呼 吸 器 系 の 良 性 新 生 物

2120

良 性 新 生 物:
鼻 腔 (ポ リ ー プ を 除 く)
気 管 支 [枝]
声 門 [喉 口]
副 鼻 腔 (ポ リ ー プ を 除 く)
喉 頭

良 性 新 生 物:
肺 (臓)
中 耳 膜
胸 [肋] 管
気 管
そ の 他 の 呼 吸 器

[註] 本項は鼻のポリープ(515)を含まない。

2043

102

2044

213

乳 房 の 良 性 新 生 物

2130

乳 房:
良 性 新 生 物 (男 子、女 子)
ブ ロー ディ ー (氏) 病

[註] 本項は乳房の良性嚢胞(620)を含まない。

2050

214

子 宮 線 維 筋 腫

2140

子 宮 の 線 [織] 維 (性) 筋 腫
類 線 維 腫 (出 血 性) (子 宮)
子 宮 線 維 腫
筋 腫 (子 宮)

2100

215

そ の 他 の 子 宮 の 良 性 新 生 物

2150

ア デ ノ ミ オ ー ジ ス
腺 筋 腫
異 所 子 宮 内 膜 様 組 織 増 殖 症
異 所 子 宮 内 膜 症
子 宮 内 膜 腫
子 宮 の 腺 線 [織] 維 症
子 宮 内 膜 症

子 宮 壁 子 宮 内 膜 症
子 宮 乳 嚢 腫
子 宮 の 良 性 嚢 腫 (頸 部) (体 部)
子 宮 の ポ リ ー プ
214 に 分 類 さ れ な い そ の 他 の 子 宮 の
良 性 新 生 物

(ポリープを-

102

除く)

2110

216

卵 巢 の 良 性 新 生 物

2160

卵 巢:
良 性 嚢 胞
良 性 新 生 物
ポ リ ー プ
内 膜 腫
顆 粒 膜 細 胞 腫
ジ ス ゲ ル ミ ノ ー ム
男 化 胚 細 胞 腫
未 分 化 胚 細 胞 腫
漿 液 嚢 腫

卵 巢:
サ ン プ ソ ン (氏) 嚢 胞
ブ レ ン ネ ル (氏) 腫 瘍
顆 粒 膜 細 胞 腫
表 面 乳 嚢 腫
葡 萄 状 嚢 腫
偽 ム チ ン 嚢 腺 腫
悪 性 と 明 示 さ れ な い 嚢 胞 性 腺 腫
悪 性 と 明 示 さ れ な い 奇 形 [畸-
型] 腫 (嚢 胞 性)

含む)

門を含む)

[註] 本項は濾過嚢胞、白体嚢胞、黄体嚢胞、濾胞嚢胞及びグループ(氏)卵胞嚢胞(625)を含まない。

II 新 生 物

47

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

製表
符号

良性新生物:
肝臓(胆管を含む)
網 膜(大、小)
その他の消化器

[註] 本項は脾臓の島細胞腫瘍(270)を含まない。

2042

212

呼吸器系の良性新生物

2120

良性新生物:
鼻腔(ポリープを除く)
気 管 支〔枝〕
声 門〔喉口〕
副鼻腔(ポリープを除く)
喉 頭

良性新生物:
肺 (臓)
中 耳
胸 〔肋〕 膜
気 管
その他の呼吸器

[註] 本項は鼻のポリープ(515)を含まない。

2043

2044

213

乳房の良性新生物

2130

乳 房:
良性新生物(男子、女子)
ブローディー(氏)病

[註] 本項は乳房の良性嚢胞(620)を含まない。

2050

214

子宮線維筋腫

2140

子宮の線〔織〕維(性)筋腫
類線維腫(出血性)(子宮)
子宮線維腫
筋 腫(子宮)

2100

215

その他の子宮の良性新生物

2150

アデノミオージス
腺 筋 腫
異所子宮内膜様組織増殖症
異所子宮内膜症
子宮内膜腫
子宮の腺線〔織〕維症
子宮内膜症

子宮壁子宮内膜症
子宮乳嚢腫
子宮の良性嚢腫(頸部)(体部)
子宮のポリープ
214に分類されないその他の子宮の
良性新生物

(ポリープを-

除く)

いエプーリス

216

卵巣の良性新生物

2160

卵 巢:
良 性 嚢 胞
良 性 新 生 物
ポ リ ー プ
内 膜 腫
顆 粒 膜 細 胞 腫
ジスゲルミノーム
男 化 胚 細 胞 腫
未 分 化 胚 細 胞 腫
漿 液 嚢 腫

卵 巢:
サンブソン(氏)嚢胞
ブレンネル(氏)腫瘍
顆粒膜細胞腫
表面乳嚢腫
葡萄状嚢腫
偽ムチン嚢腺腫
悪性と明示されない嚢胞性腺腫
悪性と明示されない奇形〔畸-
型〕腫(嚢胞性)

2110

含む)

門を含む)

[註] 本項は濾過嚢胞、白体嚢胞、黄体嚢胞、濾胞嚢胞及びグラーフ(氏)卵胞嚢胞(625)を含まない。

217

その他の女性性器の良性新生物

2170

良性の嚢胞、新生物及びポリープ：
 パルトリン(氏)腺
 広緻嚢(広靱帯)
 陰挺(核)
 副卵巣管
 陰(輪)卵巣体部
 卵巣傍体部
 陰子宮靱帯管
 子宮ラッパ管
 ラッパ管
 ファロービオ(氏)管

良性の嚢胞、新生物及びポリープ：
 膈外陰
 その他及び詳細不明の女性性器
 悪性と明示されない奇形(畸型)-
 腫(嚢胞性)：
 広緻嚢管
 (輪)卵巣管
 ラッパ管
 ファロービオ(氏)管

218

男性性器の良性新生物

2180

良性新生物：
 陰茎
 陰囊
 精索

良性新生物：
 睪丸
 副睪丸
 その他又は詳細不明の男性性器

[註] 本項は前立腺肥大又は前立腺増大(610)を含まない。

219

腎臓及びその他の泌尿器の良性新生物

2190

良性新生物：
 腎臓
 (輪)尿管
 膀胱(括約筋)
 尿道
 尿管(胎児尿管)
 その他又は詳細不明の泌尿器

尿道：
 尿管
 腎乳管
 腎腺線(織)維
 脂肪腫

220

皮膚の良性黒色腫

2200

皮膚の良性黒色腫
 青色母斑
 色素性母斑(悪性と明示-
 されないもの)

色素細胞母斑
 黒痣
 非色素性母斑(悪性と明示されな-
 いもの)

221

毛嚢嚢胞

2210

毛嚢嚢胞 [Pilonidal cyst] (直腸)(感染性)
 毛嚢洞(贅)(直腸)(感染性)
 毛嚢瘻(直腸)(感染性)

222

その他の皮膚の良性新生物

2220

脂肪腺腫
 皮膚組織球腫
 皮膚ヒストチトーム

皮膚線(織)維腫
 汗腺腫
 多発(性)汗腺腫

223

224

225

226

II 新 生 物

49

三 桁 日 本 国 際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

製表
符号

2170

皮膚の乳嚢腫
空洞嚢腫
ジリンゴチストーム
空洞嚢腺腫

肛門の良性新生物
黒色腫及び毛嚢腫を除くその他
の皮膚の良性新生物(性器以外の
あらゆる部位)

[註] 本項は脂腺嚢胞(714.2)を含まない。

223

脳及びその他の神経系の良性新生物

2230

良性の新生物及び嚢胞:

脳 (各部)
脊 髓 尾 膜
馬 腦 尾 膜
眼 膜
髄 膜
脊 髓 膜
神 經 (各部)
交 感 神 經 系
その他の神経系
神経系ヒョレステリン腫瘍
軟性線維腫

良 性 膠 質 腫
良 性 神 經 膠 (質) 腫
リンドウ(氏)病
中 枢 神 經 系 血 管 腫 (症)
脳 膜 腫
メニンギオーム
線 維 性 軟 疣 [Molluscum
fibrosum]
神 經 線 維 腫
神 經 鞘 腫
砂 瘻
シュワン(氏)白質腫瘍
フォン・ヒッペル・リンドウ(氏)病

[註] 本項は眼の嚢胞(388)を含まない。

224

内分泌腺の良性新生物

2240

良 性 新 生 物:

副 腎 腺 腫
松 果 体 嚢 腫
胸 腺 腫
(脳)下 垂 体
頭 蓋 咽 頭 腫
クラニオファリンギオーム

副 腎 腺 腫
松 果 体 嚢 腫
胸 腺 腫
下 垂 体 腺 腫

[註] 本項は下垂体の詳細不明の腫瘍を含むが、甲状腺の肥大(250-252)は含まない。

225

骨及び軟骨の良性新生物

2250

エナメル上皮腫
珐 瑯 (質) 腫
軟 骨 腫
内 軟 骨 腫
外 軟 骨 腫
良 性 新 生 物:
骨 (各部位) (骨膜)
軟 骨
関 節 (各部位)

巨 大 細 胞 腫 (瘍)
良 性 骨 髓 腫
粘 液 軟 骨 腫
骨 崩 壊 腫
喰 [破] 骨 細 胞 腫 (症)
骨 腫
顎 骨 の 線 [織] 維 嚢 胞 疾 患 (症)
悪 性 と 明 示 さ れ な い 骨 髓 性 肉 腫

226

脂 肪 腫

2260

線 [織] 維 脂 肪 腫
す べ て の 部 位 の 脂 肪 腫
脂 肪 性 腫 瘍
脂 肪 線 維 腫

2180

2180

2190

2200

2210

2220

びポリープ:

明の女性性器
奇形[畸型]

管

明の男性性器

明示されな

三 桁 日 本 国 際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

227

その他の筋組織及び結合組織の良性新生物

2270

良性新生物:
結合組織 214, 217, 226に分類されないもの
筋 締 織 膜 肉
子宮以外の筋腫
粘液線維腫
粘 液 腫

228

血管腫及びリンパ管腫

2280

血管脂肪腫 リンパ〔淋巴〕管腫(先天性)(各部位)
中枢神経系及び網膜(眼)以外の母斑NOS
血管腫(良性)(先天性)(各部位) 血管母斑
線〔織〕維腫性血管腫 リンパ管母斑
糸球〔毬〕腫〔Glomus tumor〕 海綿様母斑
〔註〕本項は青色又は色素沈着性と明示された母斑(220)を含まない。

229

その他及び詳細不明の臓器及び組織の良性新生物

2290

210-228, 250-252, 270, 515, 610, 620及び625に分類されない
良性新生物

性質不詳の新生物 (230-239)

230

消化器の性質不詳の新生物

2300

胆路及び肝臓
十二指腸道
食道 (各部)
腸 膜 腸
胃 膜 腸
その他又は部-
位不明の消化器
の悪性、良性の別不明の新生物

231

呼吸器の性質不詳の新生物

2310

副鼻腔 腔
管 支〔枝〕門頭
喉 頭
肺 腔内
鼻 膜管
胸〔肋〕
気 管
その他呼吸器
の悪性、良性の別不明の新生物

三
基本分

232

233

234

235

236

237

238

II 新 生 物

三 桁 日 本 国 際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

製表
符号

2270

232

乳房の性質不詳の新生物

2320

乳房の悪性、良性の別不明の新生物(男子)(女子)

233

子宮の性質不詳の新生物

2330

子宮頸 子宮の他の部位 の悪性、良性の別不明の新生物

2280

234

卵巣の性質不詳の新生物

2340

卵巣の悪性、良性の別不明の新生物

235

その他の女性性器の性質不詳の新生物

2350

バルトリン(氏)腺
広緻襞〔広靱帯〕
陰 挺〔核〕
(輪)卵 管
子宮 靱 帯
陰 外 陰
その他233-234に分類されない女性性器
の悪性、良性の別不明の新生物

2290

236

その他の性尿器の性質不詳の新生物

2360

膀 胱 臓
腎 臓
男性性器(各部位)
その他の性尿器
の悪性、良性の別不明の新生物

2300

237

脳及びその他の神経系の性質不詳の新生物

2370

脳 (各部)
膜 膜 髄
脳 脊 髄 脊 髄
眼 神 経(各部位)
神 経系(その他)
他の部位
脳 腫 瘍
脊 髄 腫 瘍
神 経 腫 瘍
の悪性、良性の別不明の新生物

2310

238

皮膚及び筋骨格系の性質不詳の新生物

2380

骨(顎骨を含む)
骨 膜
結合組織〔結締織〕
の悪性、良性の別不明の新生物

(次頁に続く)

三 術 日 本 国 際
基本分類 四術分類 四術分類

製表
符号

	筋 肉 性器以外の皮- 膚のあらゆる 部位 腱 筋 膜	の悪性、良性の別不明の新生物	
239	その他及び詳細不明の臓器の性質不詳の新生物		2390
	内 分 泌 腺 リンパ[淋巴]- 節[腺] 咽 唾 液 腺 舌 果 体[腺] 松 果 体[腺] その他及び230- 238に分類され ない詳細不明 の臓器	の悪性、良性の別不明の新生物	
			240
			241
			242
			243
			244
			245

三 術 日 本 国 際
基本分類 四術分類 四術分類

III

製表
符号

Ⅲ アレルギー性疾患、内分泌系の疾患、 物質代謝及び栄養の疾患

アレルギー性疾患 (240—245)

三桁日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

240	枯 草 熱 枯草熱を伴うアレルギー性結膜炎 アレルギー性鼻炎(あらゆる原因によるもの) アレルギー〔アレルギー〕、枯草熱： 草 花粉(すべてのもの) } による 木(すべてのもの)	枯 草 熱 (すべての原因) 花 粉 症〔病〕 痙 攣 性 鼻 漏	2400
241	喘 息 喘息性気管支〔枝〕炎 枯 草 喘 息 喘息を伴う枯草熱 アレルギー性気管支炎 気 管 支 喘 息	小 児 喘 息 喘 息 (気管支) アレルギー性(すべての原因) 痙 攣 性	2410
〔註〕本項は心臓喘息(434.2)及び塵肺性喘息(523—524)を含まない。			
242	脈管神経性浮腫 急性限局性浮腫 急性本態性浮腫 脈管神経性浮腫(各部位)	巨 大 蕁 麻疹 クウィンケ(氏)病 クウィンケ(氏)浮腫	2420
243	蕁 麻疹 蕁 麻疹NOS 寒 冷 蕁 麻疹	温 熱 蕁 麻疹 すべての物質による蕁麻疹 (脈管神経性(242)を除く)	2430
244	アレルギー性湿疹 アレルギー性湿疹		2440
〔註〕本項はアレルギー性と明示されない湿疹(701)を含まない。			
245	その他のアレルギー性疾患 アレルギー性結膜炎 肺のエオジン(嗜)好性細胞増多性浸潤 サルジニア病〔Favism〕 240—244に分類されないアレルギー： 化 粧 品 頭 垢(各動物) } による 薬 品 塵 埃		2450

(次頁に続く)

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

三桁日本
基本分類四桁分類

240-244に分類されないアレルギー:

羽毛 物理的作用(寒冷、熱、光線) } による
食物 不明作用

240-244に分類されないその他のアレルギー性疾患

[註] 本項はアレルギー性紫斑病(296)、職業性及びその他の皮膚炎(702-703)、
アナフィラキシー・ショック(E951, N998.1)及び血清病(E951, N998.2)
を含まない。

254

甲状腺の疾患 (250-254)

260

250

単純性甲状腺腫

2500

単純性甲状腺腫
甲状腺腫脹(肥大)[腫大]
膠様甲状腺腫
甲状腺腫NOS
ストルーマ

汎発性膠様甲状腺腫
実質性甲状腺腫
瀰漫性甲状腺腫
増殖性甲状腺腫
非中毒性甲状腺腫

251

非中毒性結節性甲状腺腫

2510

甲状腺の腺腫(膠様)(非中毒性)(単純性)
腺腫性甲状腺腫
腺腫性甲状腺腫(非中毒性)
結節性甲状腺腫(非中毒性)(単純性)

252

甲状腺腫を伴う又は伴わない甲状腺中毒症

252.0

中毒性汎発性甲状腺腫

2520

中毒性汎発性甲状腺腫
中毒性甲状腺腫 NOS
甲状腺腫を伴う又は伴
わない甲状腺中毒症
(回帰性)甲状腺機能亢進
中毒性ストルーマ

眼球突出性甲状腺腫
眼球麻痺性甲状腺腫
バセドウ(氏)病
グレーブス(氏)病

270

252.1

中毒性結節性甲状腺腫

2521

中毒性結節性甲状腺腫
甲状腺の中毒性腺腫
中毒性腺腫性甲状腺腫
結節性甲状腺腫
腺腫性甲状腺腫
甲状腺の腺腫

甲状腺機能亢進を伴うもの

271

253

粘液水腫及びクレチン病

2530

粘液水腫
甲状腺機能減少症
甲状腺機能低下症
クレチン病(先天性)(地方病性)(散在性)(流行性)
甲状腺機能衰弱

III アレルギー性疾患、内分泌系の疾患、物質代謝及び栄養の疾患

55

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

2540

254

その他の甲状腺の疾患

甲状腺の萎縮
甲状腺腫腫 NOS
リーデル(氏)甲状腺炎
橋本(氏)病

甲状腺膿瘍
リンパ[淋巴]結節性甲状腺腫
250-253に分類されない甲状腺-
の疾患

[註] 本項は甲状腺(腺)舌嚢胞(759.3)を含まない。

糖 尿 病 (260)

260

糖 尿 病

糖尿病(家族性)
過血糖性昏睡
島性糖尿病
糖尿病性:
NOS
膿瘍
アセトン血症
アチドーシス
酸中毒(症)

糖尿病性:
昏睡 睡眠
壊血 瘡瘍
低糖 糖染
感 トーシス
潰瘍
性質不明のすべての合併症

[註] 本項は尿崩症(272)、腎性糖尿(病)(289.2)及び青銅色糖尿(病)(289.2)を含まない。

2600

その他の内分泌腺の疾患 (270-277)

270

膵臓内分泌の疾患 (糖尿病以外のもの)

インシュ[ス]リン過多症
ヒペルインスリニスムス
低血糖症 NOS
低血糖性昏睡(糖尿病以外のもの)

特発性低血糖症
ランゲルハンス(氏)島細胞腫瘍
ランゲルハンス(氏)島腫瘍

[註] 本項はインシュリン使用の際の治療上の事故(E953, N999.1)を含まない。

2700

271

上皮小体の疾患

271.0 上皮小体機能亢進症

上皮小体[副甲状腺]腺腫
汎発性嚢腫性線[織]維性骨炎
骨性レックリングハウゼン(氏)病
上皮小体機能亢進症
上皮小体増殖

2710

271.1 上皮小体機能低下症

上皮小体[副甲状腺]機能低下症
上皮小体切除性テタニー
上皮小体性テタニー
上皮小体機能不全

2711

(次頁に続く)

製表
符号

2540

2500

2510

2520

2521

2530

炎(702-703)、
951, N998.2)

腺腫
腺腫
腺腫
腺腫

腺腫
腺腫
病
病

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

三桁日本国
基本分類四桁分類四桁

271.2 その他及び詳細不明の上皮小体疾患 2712

上皮小体疾患NOS
副甲状腺疾患NOS

[註] 本項はテタニー-NOS(788.5)を含まない。

276

272 下垂体の疾患 2720

(脳)下垂体膿瘍
肢端肥大症
先端肥大症
アクロメガリー
生殖器萎縮性脂肪過多症
フレーリッヒ(氏)症候群
尿崩症
シモンズ(氏)病
巨人症(下垂体性)
好色素細胞性下垂体腺腫
下垂体(性):
悪液質

下垂体(性):
クレチニスム
侏儒症
發育障害
ジストロフィー
幼稚症[小児症]
塞壊肥
巨人症
機能亢進症
機能低下症

[註] 本項は下垂体性塩基好性細胞症及びクッシング(氏)症候群(277)を含まない。

277

273 胸腺の疾患 2730

胸腺膿瘍
胸腺腫張
胸腺肥大
胸腺残存
胸腺機能亢進症
胸腺リンパ(淋巴)体質

胸腺体質
胸腺性:
喘息
萎縮
胸腺死

[註] 本項はクッシング(氏)症候群(277)及び重症筋無力症(744.0)を含まない。

280

274 副腎の疾患 2740

アジソン(氏)病
アジソン病のクラーゼ
副腎機能不全症NOS
副腎機能低下症
副腎疾患NOS
副腎機能亢進症
副腎皮質機能不全症
副腎腎炎
副腎性肥胖症
副腎性器症候群

副腎(腺性)(皮質性):
膿瘍
萎縮
変出
梗壊
疾結
肥

瘍縮性血塞死患石大

[註] 本項は結核性と明示されたアジソン(氏)病(017)、髄膜炎菌性と明示された出血性副腎炎(057.1)及びクッシング(氏)症候群(277)を含まない。

281

275 卵巣機能異常 2750

卵巣機能異常
卵巣の(原発性)性腺機能減退症
卵巣機能障害
卵巣の性腺機能亢進症
卵巣機能亢進症
卵巣機能減退症

282

283

III アレルギー性疾患、内分泌系の疾患、物質代謝及び栄養の疾患

製表
符号

三 術 日 本 国 際
基本分類 四術分類 四術分類

製表
符号

2712

276

睾丸機能異常

2760

類 官 官 病
睾丸機能減退症(原発性)
陰 萎
睾丸機能亢進症

2720

277

多腺性機能異常及びその他の内分泌腺の疾患

2770

多腺性機能不全〔異常〕〔障害〕 松果体〔松果腺〕の機能亢進症
多発性内分泌腺硬化症 プロゲリヤ
多腺性悪液質〔悪態質〕 男性化症
ク〔カ〕ッシング(氏)症候群 女性化症
インファンチリズムS NOS 内分泌腺又は内分泌系の疾患NOS
小 児 症NOS 塩基好性細胞症(副腎皮質性)-
幼 稚 症NOS (下垂体性)(胸腺性)

ビタミン欠乏症及びその他の物質代謝病 (280—289)

2730

280

脚 気

2800

脚 気(病) 乳 児 脚 気
ベ リ ベ リ 白 米 病*
衝 心 脚 気 潜 伏 性 脚 気
麻 痺 性 脚 気 地 方 病 性 神 經 炎*
浮 腫 性 脚 気 地 方 病 性 多 発 性 神 經 炎*
脚 気 衝 心 心 臓 脚 気

2740

281

ペ ラ グ ラ

2810

ペ ラ グ ラ
アルコール性ペラグラ
ニコチン酸欠乏症
ニコチン酸アミド欠乏症
ニアシン欠乏症
アルコール中毒を伴うペラグラ

2750

282

壊 血 病

2820

壊 血 病 NOS
潜在性壊血病
小 児 壊 血 病
パーロー(氏)病
メーレル・パーロー(氏)病
壊血病性と明示されたすべての症状

2750

283

活 動 性 くる 病

2830

急性くる〔尙俣〕病
活動性又は現存するくる病:
晩 発 性
小 児 性
成 人 性

〔註〕本項は腎性くる病(574)及び腸性くる病(㉠286.0, ㉡286.c, ㉢2860)を含まない。

(277) を含ま

を含まない。

性と明示され
含まない。

58

Ⅲ・アレルギー性疾患、内分泌系の疾患、物質代謝及び栄養の疾患

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

284

くる病の後遺症

くる[佝僂]病の続発症又は後遺症と記載されたもの、発病後1年以上経過したものでくる病性又はくる病によると明示されたすべての状態。

製表
符号
2840

285

骨軟化症

骨軟化症
骨の軟化

2850

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

286

★ その他のビタミン欠乏症及び栄養欠乏症

286.5

栄養失調症(性質不明のもの)

286.a

栄養失調症(1才以上2才未満)

2865

栄養失調(症)NOS
栄養失調性浮腫
消化不良性栄養失調症
ジスベプシー性栄養失調症

[註] 本項は1才未満の乳児栄養失調症(772)及び2才以上の栄養失調症(286.b)を含まない。

286.b

栄養失調症(2才以上)

2866

286.a の内容で年齢2才以上のもの

[註] 本項は1才未満の乳児栄養失調症(772)及び1才以上2才未満の栄養失調症(286.a)を含まない。

286.c

その他

286.0

スプルー及び脂肪便症

2860

腸 性：
小児 症
くる[佝僂]病

スプルー

特発性
非熱帯性

熱帯性アフタ

熱帯性鵝口瘡

脂肪便症(慢性)

特発性(臓)性

原発性

続発性[二次性]

熱帯性

乳糜管閉塞を伴うもの

286.1

ビタミンA欠乏症

2861

ビタミンA欠乏症
Aアビタミンノーゼ
Aヒポビタミンノーゼ
乾燥性結膜炎
乾燥性角膜炎

★註： 本頁では特に日本四桁分類項の欄を右端に移した。それは国際の286.5を日本で286.aと286.bに分けたからである。

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

三桁国際
基本分類四桁分類四桁分類

287

III アレルギー性疾患、内分泌系の疾患、物質代謝及び栄養の疾患

製表
符号
2840

発病後1年
されたすべ

2850

2865

以上の栄養失調

2866

1才2才未満の

2860

2861

286. bに分けた

三桁 日本 国際 日本
基本分類 四桁分類 四桁分類 四桁分類

毛孔性角化症
角膜軟化症
夜盲症
とびりめん*
ひかめん*
ダリエー(氏)病
ビドー(氏)病
かろんめ*
フリノデルマ[Phrynoderma]

の原因として明示されたビタミンA欠乏症

286.2

ビタミンB欠乏症(脚気及びペラグラを除く)

ビタミンB欠乏症 } 脚気又はペラグラと明示されな
Bアピタミノーゼ } いもの
Bヒポピタミノーゼ }
チアミン欠乏症 } 脚気と明示されないもの
アノイリン欠乏症 }
リポフラビン欠乏症 }
ペントテン酸欠乏症 }

2862

286.3

ビタミンC欠乏症(壊血病を除く)

ビタミンC欠乏症 }
Cアピタミノーゼ } 壊血病と明示されないもの
Cヒポピタミノーゼ }
アスコルビン酸欠乏症 }

2863

286.4

ビタミンD欠乏症(くる病及び骨軟化症を除く)

ビタミンD欠乏症 }
Dアピタミノーゼ } くる[佝僂]病、骨軟化症と
Dヒポピタミノーゼ } 明示されないもの
エルゴステロール欠乏症 }
カルシフェロール欠乏症 }

2864

286.6

その他及び多発性欠乏状態

ビタミン欠乏症NOS
ヒポピタミノーゼNOS
ビタミンE欠乏症
ビタミンK欠乏症(新生児を除く)
アミノ酸欠乏症
プロテイン欠乏症
低蛋白血症
低蛋白血症
ウェルニッケ(氏)脳疾患
その他及び詳細不明のビタミン欠乏症又は本態性食餌-
性欠乏症

2867

[註] 本項は新生児のビタミンK欠乏症(771)及び1才未満の乳児の食餌性栄養欠乏症(772)を含まない。

三桁 国際 日本
基本分類 四桁分類 四桁分類

287

肥満症(内分泌性と特記されないもの)

肥 胖 症NOS
肥 満 症NOS
内分泌性以外の肥胖症
脂肪過多症

2870

III アレルギー性疾患、内分泌系の疾患、物質代謝及び栄養の疾患

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

288

痛 風

痛風（リュウマチ性及び鉛毒性のものを除く）
尿酸性関節炎
痛風性：
関節炎
虹彩脈炎
静脈炎
滑（液）膜炎

2880

289

その他の物質代謝病

289.0 脂肪代謝障害

類脂肪体症
黄色腫症
ゴーシュ（氏）病
骨のエオジン好性肉芽腫
ニーマン・ピック（氏）病
ピック（氏）病（Lipoid histiocytosis）
シューレル・クリスチャン（・バンド）（氏）病
リポイド蓄積症

2890

289.1 類澱粉症

アミロイド病（各部位）
類澱粉症
アミロイド肝変性
脈脂様肝変性
脈脂様変性症

2891

289.2 そ の 他

有痛性肥胖病（ダーカム（氏）病）
アルカプトン尿症
青銅（色）糖尿病（非真性糖尿病）
チスチン蓄積症（腎臓の硬変を伴うもの）
チスチン尿症
脂肪変性症
グリコーゲン蓄積症
血色素沈着症
グリコーゲン性肝（臓）巨大症
果糖尿症
進行性リポイド・ジストロフィー
組織黒変症
五炭糖尿症
尿酸塩尿症
尿酸塩尿症
ボルフィリン尿症
腎性尿糖
糖尿病（非真性）
フォン・ギールケ（氏）病
その他の物質代謝障害

2892

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

290

290.0

290.1

290.2

291

292

292.0

292.1

292.2

製表
符号

2880

IV 血液及び造血器の疾患

血液及び造血器の疾患 (290-299)

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

290

悪性貧血及びその他の高色性貧血

290.0

悪性貧血

悪性貧血
特発性悪性貧血
ビールメール(氏)貧血
アジソン(氏)貧血

2900

290.1

脊髄の亜急性複合変性

脊髄の亜急性複合変性
脊髄の亜急性複合硬化
脊髄の複合硬化
索性脊髄変性

脊髄症状を伴う悪性貧血
脊髄変性を伴う悪性貧血
脊髄硬化を伴う悪性貧血

2901

290.2

その他の高色性貧血

高色(素)性貧血
巨大赤血球性貧血
メガロチーテン性貧血

2902

291

鉄欠乏性貧血(低色性貧血)

萎黄病
失血性貧血
クロローゼ
胃液欠乏性貧血
鉄欠乏性貧血
小赤血球性貧血

胃液欠乏性萎黄貧血
低色(素)性貧血
早熟性貧血[Anæmia of Prematurity]
ブランマー・ヴィンソン(氏)症候群[Plummer-Vinson syndrome]
ウィット(氏)貧血[Witts' anæmia]

2910

292

その他の型の貧血

292.0

家族性無胆汁色素尿性黄疸

家族性無胆汁色素尿性黄疸
家族性溶血性黄疸
家族性溶血性貧血
ミンコウスキー(氏)溶血性黄疸又は貧血
ミンコウスキー(氏)症候群[Minkowski-Chauffard syndrome]

2920

292.1

急性溶血性貧血

急性溶血性貧血(新生児を除く)
リードラー(氏)急性溶血性貧血
リードラー(氏)貧血[Lederer's anæmia]

2921

292.2

その他の溶血性貧血

溶血性貧血(新生児を除く)
溶血性黄疸(新生児を除く)
後天性溶血性貧血
クーリー(氏)赤芽球性貧血
[Cooley's anæmia]

クラッサン貧血[Thalassanæmia]
後天性無胆汁色素尿性黄疸
後天性溶血性黄疸
地中海病

2922

(次頁に続く)

2890

2891

2892

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

292.3	白芽赤芽細胞症貧血 白(芽)赤芽細胞(症)性貧血 白(芽)赤芽球性貧血 骨髓硬化症 骨硬化性貧血 骨髓線(織)維化性骨硬化症	ロイコ・エリトロージス 仮性白血病 フォン・ヤクシュ(氏)貧血	2923
292.4	無形成貧血 無形成貧血		2924
292.5	不再生性貧血 不再生性貧血 再生不能性貧血 ファンコニー(氏)貧血 バムフォード・ロード(氏)貧血		2925
292.6	鎌状細胞貧血 鎌状細胞貧血 ヘリック(氏)貧血[Herrick's anaemia]		2926
292.7	その他の型の貧血 290-292.6 に分類されないその他の型の貧血		2927
293	詳細不明の貧血 貧血 NOS* 本態性貧血 正色素性貧血 色素係数正常性貧血 二次性貧血(出血後の場合を除く)	単純性貧血 進行性貧血 オリゴ赤血球性貧血 ヒドレミア 正常血球性貧血	2930
294	多球血症 多血球症(赤血球增多症) 慢性 骨髓(増殖)性 一次 二次 赤巨脾症 真性	多(血)球血症(脾腫性、巨脾症性、脾臓腫大[肥大]性) 赤血球増[過]多症(脾腫性、巨脾症性、脾臓腫大[肥大]性) 赤血病[Erythraemia] (赤色)赤血球増[過]多症 オスラー・ヴァケー(氏)病 潜在原性多血球症[Polycytosis cryptogenica]	2940
	[註] 本項は急性赤血病(204.4)を含まない。		
295	血友病 血友病 ヘモフィリー 家族性(遺伝性)血友病 家族性(遺伝性)出血		2950

296		
297		
298		298.0
299		299.1

IV 血液及び造血器の疾患

63

三行 日本国際
基本分類 四行分類 四行分類

製表
符号

製表
符号

2923

296

紫斑病及びその他の出血病

2960

紫斑病(原発性)
アレルギー性
ヘノッホ(氏)(Henoch)
シェンライン(氏)
リュウマチ性
出血性
血小板減少性
特発性
単電
発純
電撃性

ウェルホーフ(氏)病
ヘノッホ(氏)病
ヒポプロトロンビン症
シェンライン(氏)病
紫斑(点状出血)
出血性素質(傾向)NOS
血小板減少症
血小板減少性貧血
非家族性出血

2924

2925

297

無顆粒球症

2970

無顆粒球症(口峽炎)
アグラヌロチトーゼ
顆粒細胞減少症(一次性)
白血球減少症
中性(嗜)好白血球減少症(悪性)
中性(嗜)好細胞減少性脾腫

2926

298

脾臓の疾患

298.0

肝脾性線維症

2980

肝脾線[織]維(化)症
肝脾硬化症
脾腫性肝硬変症
脾腫性貧血
脾性貧血
バンチ(氏)病

2927

2930

298.1

その他

2981

脾臓膿瘍
脾臓疾患NOS
脾臓楔状出血
脾臓梗塞
脾臓周囲炎
脾臓壊疽
脾臓炎
その他 298.0 に含まれない脾臓の疾患

2940

貧血
血アミア血

性、巨脾症性、
脾腫性、巨脾-
(大)性)
多症
(氏)病
Polycytosis

2950

299

その他の血液及び造血器の疾患

2990

腸性チアノーゼ [Enterogenous cyanosis]
血色素血症
メトヘモグロビン血症
スルファヘモグロビン血症
本態性血小板増(過)多症
白血球症[白血球増加症][Leucocytosis]
血液及び造血(臓)器の疾患

[註] 本項はホジキン病(201)及び白血病、無白血病(204)を含まない。

V 精神病、精神神経症及び人格異常

300—326項は肉体的疾患に附随することの明らかな一時的譫妄及び軽度の精神障害を含まない。この種のものはたとえば発熱反応の一時的譫妄、尿毒症に伴う一時的な精神障害、何らかの系統の感染、又は脳感染、外傷、変性性疾患又は脈管性疾患に伴う一時的な精神反応のごときものである。

精 神 病 (300—309)

300—309項は若年神経梅毒(020.1)、進行麻痺(025)、脳炎後精神病(083.2)及び産褥性精神病(688.1)を含まない。

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

300	精神分裂病 (早発性痴呆)	3000	301
300.0	単 純 型 痴 呆: 精神分裂症: 単 純 性 性 原 発 性 性	3000	301.0
300.1	破 瓜 型 類 破 瓜 型 パラフレニー性痴呆 パラフレニー性精神分裂症 ヘベフレニー	3001	301.1
300.2	緊 張 型 緊 張 病 カタトニー 緊張性精神分裂症	3002	301.2
300.3	妄 想 型 パラフレニー 妄想[偏執]性痴呆 妄想性精神分裂症	3003	302
300.4	急 性 分 裂 反 応 急 性 分 裂 反 応	3004	303
300.5	潜 伏 性 分 裂 病 潜伏(性)分裂病 潜伏(性)精神分裂反応 精神分裂残痕状態[Schizophrenic residual state (Restzustand)]	3005	

V 精神病、精神神経症及び人格異常

65

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

300.6

混合精神病(精神分裂-感情性精神病)

3006

混合(性)精神病
精神分裂-感情性精神病[Schizo-affective psychosis]
精神分裂躁うつ[鬱]混合精神病
シゾティミア[Schizothymia]

300.7

その他及び詳細不明

3007

精神分裂病
精神分裂症
早発性
接枝性
欠陥性
デメンチア・ブレコキシマ
デメンチア・ブレコックス

NOS又は300.0-300.6に分類されない型

301

躁うつ病

[註] 本項は神経症性抑うつ反応(314)を含まない。

301.0

躁病及び循環性精神病

3010

循環[交代]性:
精神異常
昏迷
躁うつ[鬱]性精神病
躁うつ反応
躁病性躁うつ性精神病
躁病 NOS
マニ - NOS

躁うつ反応:
激越性
躁病性
循環病
軽躁病
回帰性精神病
チクロティミア[Cyclothymia]

301.1

抑うつ症

3011

抑うつ[鬱]症[病]
うつ病
メランコリー-NOS

抑うつ性:
躁うつ性精神病
躁うつ性反応

301.2

その他

3012

感動性精神病
躁うつ[鬱]性精神病[異常]:
NOS
躁病性、うつ病性、又は循環性精神病を除いた他のすべての型

躁うつ性反応:
NOS
昏迷性

302

退行期うつ病

3020

メランコリー:
更年期性
退行期性
閉経期性

インヴォルチオンス・メランコリー
更年期性精神異常[病]
退行期性精神病(各型)

303

偏執病及び偏執状態

3030

パラノイア
偏執状態 NOS
偏執病、類偏執状態(痴呆及び精神分裂症以外のもの)

製表
符号

3000

3001

3002

3003

3004

3005

異常

精神障害を含ま
精神障害、何
一時的な精神反応

及び産褥性精神

定

estzustand)]

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

表
符号

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

304

老年性精神病

3040

309

老人性:
痴呆 呆愚
精神異常
メランコリー
精神病(各型)

老年(性)痴呆
老耄(性)痴呆
老人(性)痴呆
老耄病
65才以上の食物拒絶及び精神障害の
ある大脳萎縮又は大脳の変性性疾患

[註] 本項は65才未満の食物拒絶(795.0, 795.d, 7951)及び65才未満の精神
病を伴う大脳萎縮(309)を含まない。

305

初老期精神病

3050

アルツハイマー(氏)病
脳のピック(氏)病
脳の限局性萎縮

初老期性:
痴呆 呆病
精神 硬化
硬 化 症

310-318項は単純

306

脳動脈硬化症に伴う精神病

3060

310

(脳)動脈硬化性精神病
精神病を伴う器質性脳疾患
(脳)動脈硬化(性)痴呆

[註] 本項は一次死因の分類としては用いない。又、一般に一次疾病の分類にも
用いない。

307

アルコール性精神病

3070

311

アルコール(性)精神病(各型)
アルコール中毒者のコルサコフ(氏)精神病
振[震]顛譫妄
酒精幻覚症
酒精多発性神経炎性精神病
コルサコフ(氏)精神病及び症候群(非アルコール性と明示されないもの)

[註] 本項は精神病を伴わないアルコール中毒症(322)を含まない。

308

その他の原因を示しうる精神病

[註] 本項は先行状態がある場合は一次死因の分類として用いない。又、一般に
一次疾病の分類にも用いない。

308.0

脳腫瘍による精神病

3080

312

脳腫瘍による精神病
脳内新生物を伴う精神病

308.1

てんかん又はその他の痙攣性疾患による精神病

3081

313

てんかん[癲癇](性)朦朧状態
てんかん性変質
353に分類される疾病を伴う精神病
その他の痙攣性疾患を伴う精神病

[註] 本項は精神病を伴わないてんかん(353)を含まない。

308.2

そ の 他

3082

外傷性精神病
308.0-308.1に分類されないその他の疾患又は傷害による(二次
性)精神病

V 精神病、精神神経症及び人格異常

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

製表
符号

3040

309

その他及び詳細不明の精神病

3090

精神病NOS
痴呆NOS
精神錯乱
精神異常NOS*
発狂
狂乱*

狂人*
疲憊性譫妄
ふうてん*
65才未満で初老期精神病に分類さ
れない精神病を伴う大脳萎縮又は
大脳の変性性疾患

[註] 本項は65才以上の精神病を伴う大脳萎縮(304)を含まない。

3050

精神神経症 (310—318)

310—318項は単純性成人性適応障害(326.4)及び神経過敏及び鈍弱(790)を含まない。

3060

310

身体症状の記載のない不安反応

3100

不安:
神経症NOS
反応NOS
状態NOS

身体症状の記載のない311の状態を伴う不安反応

3070

311

不安反応の記載のないヒステリー反応

3110

神経性食慾不振
ヒステリー(性):
NOS
転換性
減失
夢遊
療昏
健食
無首
換症
黙踪
遊症
遊攀
昏迷
健忘
食振
無聲症
目

ヒステリー(性):
カタレプシー
運動麻痺
運動障害
運動姿勢
チク
振痛
嗅覚脱失
てんかん
その他の
臓

不安反応の記
載のないもの

不安反応の記
載のないもの

3080

312

恐怖反応

3120

恐怖反応[Fear reaction]
恐怖反応[Phobic reaction]
恐怖(症)

3081

313

強迫反応

3130

神経症:
強衝不安拒食症
強迫性
動不安強迫性
症[Sitophobia]

強迫(性):
表思反
象考芻
念怖
慮反
応

3082

及び精神障害の
大脳の変性性疾患
が65才未満の精神

疾病の分類にも

示されないもの)

い。又、一般に

による(二次

V 精神病、精神神経症及び人格異常

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

製表
符号

3040

309

その他及び詳細不明の精神病

3090

精神病 NOS
痴 呆 NOS
精神錯乱
精神異常 NOS*
発狂
狂乱

狂人*
疲憊性譫妄
ふうてん*
65才未満で初老期精神病に分類さ
れない精神病を伴う大脳萎縮又は
大脳の変性性疾患

〔註〕本項は65才以上の精神病を伴う大脳萎縮(304)を含まない。

3050

精神神経症 (310—318)

310—318項は単純性成人性適応障害(326.4)及び神経過敏及び鈍弱(790)を含まない。

3060

310

身体症状の記載のない不安反応

3100

不安:
神経症 NOS
反応 NOS
状態 NOS

身体症状の記載のない311の状態を伴う不安反応

3070

311

不安反応の記載のないヒステリー反応

3110

神経性食欲不振
ヒステリー(性):
NOS
転換 換
緘黙 症
失遊 踪
夢遊 症
昏 迷
昏 忘
健 振
食 聲
無 不
盲 声
目

ヒステリー(性):
カタレプシー
運動麻痺
運動障害
運動失調
チンク
振痛
嗅覚脱失
その他
臓 症状
躁*

不安反応の記
載のないもの

不安反応の記
載のないもの

3080

312

恐怖反応

3120

恐懼反応[Fear reaction]
恐怖反応[Phobic reaction]
恐怖(症)

3081

313

強迫反応

3130

神経症:
強迫性
衝動性
不安強迫性
拒食症[Sitophobia]

強迫(性):
表象反観
反
象考
芻念
怖
応

3082

絶及び精神障害の一
大脳の変性性疾患
及び65才未満の精神

呆
病
症

一次疾病の分類にも

明示されないもの
ない。

ない。又、一般に

害による(二次

三桁 日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

314	神経症性抑うつ反応 神経症性抑うつ〔鬱〕反応 心原〔因〕(性)抑うつ症〔反応〕 反応性抑うつ症 〔註〕本項は躁うつ性反応(301)を含まない。	3140
315	循環器系をおかす身体症状(身体化反応)を伴う精神神経症 〔註〕本項は心原と明示されない機能性心臓疾患(433)を含まない。	
315.0	神経性循環性無力症 神経性循環性無力症 心(臓)無力症 心(臓)神経症 ダ・コスタ(氏)症候群 努力症候群〔Effort syndrome〕	3150
315.1	その他の心原と明示された心臓症状 心原〔因〕(性)機能性心臓疾患 315.0に分類されない心原(性)と明示された433の各疾患	3151
315.2	その他の心原循環器症状 315.0及び315.1に分類されない心原〔因〕(性)と明示された心臓血管系の異常	3152
316	消化器系をおかす身体症状(身体化反応)を伴う精神神経症 〔註〕本項は胃潰瘍(540)、十二指腸潰瘍(541)を含まない。又、心原(性)と明示されない食道(539.0)、胃(544)、及び腸(573)の機能性疾患を含まない。	
316.0	心原粘液大腸炎 心原〔因〕(性)と明示された573.1の各疾患	3160
316.1	心原大腸過敏 心原〔因〕(性)と明示された機能性下痢 心原(性)と明示された573.2の各疾患	3161
316.2	胃神経症 胃神経症 胃のノイローゼ 心原〔因〕(性)と明示された機能性消化不良症〔ジスペプシー〕 心原(性)と明示された544の各疾患	3162
316.3	その他の心原と明示された消化器症状 喰気症 空気嚥下症 心原〔因〕(性)腹痛 心原(性)便秘 グローブ〔球感〕 316.0—316.2に分類されない心原(性)と明示された消化器系障害	3163
317	その他の系統をおかす身体症状(身体化反応)を伴う精神神経症	
317.0	呼吸器系をおかす心原反応 心原〔因〕(性)喘息 心原(性)咳嗽 心原(性)と明示された呼吸器系障害 心原(性)呼吸困難 心原(性)呼吸頻数	3170

三桁 日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

317.1		317.1
317.2		317.2
317.3		317.3
317.4		317.4
317.5		317.5
318		318
318.0		318.0
318.1		318.1
318.2		318.2
318.3		318.3
318.4		318.4

V 精神病、精神神経症及び人格異常

69

三桁日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

製表
符号

3140

317.1

性尿器系をおかす心原反応

3171

障 害：
性 尿 器 系 } 心原〔因〕(性)と明示されたもの
性 機 能 }
排 尿

ら精神神経症

317.2

心原痒痒症

3172

心原〔因〕(性)と明示された痒痒症

まない。

3150

317.3

その他の皮膚神経症

3173

心原〔因〕(性)と明示された皮膚の疾患(痒痒症を除く)
心原皮膚神経症

と明示された不調性-

症〔Soldier's heart〕

3151

317.4

筋骨格系をおかす心原反応

3174

障 害：
関 節 } 心原〔因〕(性)と明示されたもの
肢 (手、足) }
筋 骨 格 系 }
心原〔性〕と明示された麻痺

の各疾患

3152

317.5

その他の系統をおかす心原反応

3175

心原〔因〕(性)と明示された315—317.4に分類されない身体各部の障
害

明示された心臓血管

ら精神神経症

又、心原〔性〕と明示さ
疾患を含まない。

318

その他の型、混合型及び型不詳の精神神経症

3160

318.0

心 気 症

3180

心 気 症
ヒポコンデリー(反応)

3161

318.1

人 格 感 消 失

3181

人格感消〔喪〕失

3162

318.2

職 業 性 神 經 症

3182

職業性神経症
書 癡
鉦夫眼球振〔震〕盪症

士

士
スペアシー]

3163

318.3

無 力 性 反 応

3183

無 力 性 反 応 } 精 神 疲 勞
神 經 衰 弱 } 心原〔因〕(性)無力症
神 經 性 疲 憊 } 心原〔性〕全身疲労
神 經 性 疲 勞 }
ノイラスチニー

秘

に分類されない心原-
れた消化器系障害

3170

318.4

混 合 型

3184

精神神経症の混合型

を伴う精神神経症

困難
類教

〔註〕本項は混合不安反応及びヒステリー反応(310)を含まない。

(次頁に続く)

三訂日本国際 基本分類 四桁分類 四桁分類	70	V 精神病、精神神経症及び人格異常	製表 符号
318.5	その他及び不詳の型	神経症NOS 精神衰弱 精神神経症NOS 拘禁反応 拘禁(性)精神病	3185
		意気沮喪感症 意気銷沈感症 310—318.4に分類されな いその他の精神神経症	

三訂日本
基本分類 四桁分類
321

性格、行動及び知能の異常 (320—326)

320, 321, 325及び326項は急性伝染性脳炎の後遺症(083)を含まない。

320	病 的 人 格	
320.0	類分裂性人格 [Schizoid personality] 類分裂性人格	3200
320.1	偏執性人格 [Paranoid personality] 類偏執性人格 偏執性人格 [註] 本項は偏執病及び偏執状態(303)を含まない。	3201
320.2	循環性人格 [Cyclothymic personality] 循環性人格	3202
320.3	適応不能人格 [Inadequate personality] 適応不能人格 NOS 体質性低格 [Constitutional inferiority]	3203
320.4	反社会性人格 [Antisocial personality] 反社会性人格 反社会性精神病質 体質性性格異常状態 性格異常: NOS 反社会性	3204
320.5	非社会性人格 [Asocial personality] 非社会性人格 病的虚言者 道徳的精神薄弱 道徳低格 無道徳傾向を伴う性格異常	3205
320.6	性的偏向 [Sexual deviation] 露出症 節片愛 拝物性愛 同物性愛 サディズム サディズム 病的性欲 性的偏向	3206
320.7	その他及び詳細不明 病的人格 NOS	3207

322

323

V 精神病、精神神経症及び人格異常

三 桁 日 本 国 際
基 本 分 類 四 桁 分 類 四 桁 分 類

製表
符号

製表
符号

3185

321

未 熟 人 格 (Immature personality)

321.0

情 緒 不 安 定 (Emotional instability)

3210

情 緒 不 安 定 (過 度)
感 情 不 安 定

321.1

依 存 性 (Passive dependency)

3211

依 存 (性)
依 存 反 応

321.2

攻 撃 性 (Aggressiveness)

3212

攻 撃 (性)

321.3

未 熟 人 格 を 示 す 遺 尿 症 (Enuresis characterizing immature personality)

3213

未 熟 人 格 に よ る 遺 尿 症

321.4

言 語 障 害 を 除 く そ の 他 の 性 癖 障 害 (Other symptomatic habits except speech impediments)

3214

遺 尿 症 と 言 語 障 害 を 除 く 未 熟 人 格 の 発 現 が 特 徴 で あ る 性 癖 障 害

321.5

そ の 他 及 び 詳 細 不 明

3215

未 熟 反 応 NOS
未 熟 人 格 NOS

322

ア ル コ ー ル 中 毒 症

[註] 本 項 は ア ル コ ー ル 性 精 神 病 (307) 及 び ア ル コ ー ル に よ る 急 性 中 毒 (E 880, N 961) を 含 ま な い。又、一 次 原 因 の 分 類 と し て 用 い る 場 合 は ア ル コ ー ル 中 毒 を 伴 う 肝 硬 変 (581.1) も 含 ま な い。

322.0

急 性

3220

急 性 ア ル コ ー ル 中 毒 症
急 性 エ チ リ ズ ム
泥 酔*

322.1

慢 性

3221

慢 性 ア ル コ ー ル 中 毒 症
慢 性 エ チ リ ズ ム
ア ル コ ー ル 嗜 癖

322.2

急 性、慢 性 の 別 不 明

3222

ア ル コ ー リ ズ ム NOS
エ チ リ ズ ム NOS
ア ル コ ー ル 中 毒 症 NOS

323

そ の 他 の 薬 品 嗜 癖

慢 性 中 毒 又 は 嗜 癖 (耽 溺 症):

ア ダ リ ン
ア ド ル ム
阿 片 (ア ヘ ン)
イ ン ド 大 麻
医 薬 品

慢 性 中 毒 又 は 嗜 癖 (耽 溺 症):

エ チ ル モ ル フ ィ ン
塩 酸 ヘ ロ イ ン
塩 酸 モ ル ヒ ネ
オ ビ ス タ ン
カ ル モ チ ン

3230

(次頁に続く)

3200

3201

3202

3203

3204

3205

3206

3207

類されな
神経症

ない。

う性格異常

三 桁 日 本 国 際
基 本 分 類 四 桁 分 類 四 桁 分 類

製 表
符 号

三 桁 日 本 国 際
基 本 分 類 四 桁 分 類 四 桁 分 類

慢性中毒又は嗜癖(耽溺症):

- カンナビス・インディカ
- 覚 醒 ア ミ ン
- ク ロ ラ ー ル
- コ カ イ ン
- コ デ イ ン
- ス コ ボ ラ ミ ン
- セ ド リ ン
- デ ィ ア モ ル フ ィ ン
- デ ィ ア セ チ ー ル モ ル フ ィ ン
- デ バ イ ン
- デ メ ロ ー ル
- ナ ル コ ボ ン
- ネ オ モ ヒ ン
- ハ ッ シ ュ
- バルビツール酸(及びその化合物)

慢性中毒又は嗜癖(耽溺症):

- パ ビ ナ ー ル
- バ ラ アル デ ヒ ド
- バ ン ト ボ ン
- ヒ ロ ボ ン
- ブ ロ ー ム 剤
- ブ ロ バ リ ン
- ブ ロ ム デ イ エ チ ル ア セ チ ル 尿 素
- ブ ロ ム ワ レ リ ル 尿 素
- ヘ ロ イ ン
- ベ ン ゼ ド リ ン
- ペ テ デ ィ ン
- モ ル ヒ ネ
- モ ル フ ィ ン
- その他の麻酔、鎮痛、興奮、覚醒-
剤
- モ ル ヒ ニ ス ム ス

324

幼 児 の 行 動 異 常

3240

精神錯乱、人格、道徳的精神薄弱及びすべての肉体的疾病と同一視しない。小児期の行動異常:

- か ん べ き
- 手 嫉 意
- 淫 姦 情

[註] 本項は人格の異常(320—321)を含まない。

325

精 神 薄 弱

[註] 本項は脳性癱瘓小児麻痺(351)、出生時の損傷(760, 761)、エピロイア(Epiloia)、結節性硬化症(753.1)、ガルゴイリズム[Gargoylism](289)、水頭体(344, 752)、ハイパーテロリズム[Hypertelorism](758.2)及び若年進行麻痺(020.1)を含まない。

325.0

白 痴

3250

白 痴(先天性)NOS
知能年齢0—2才の成人
知能指数20未満の小児

325.1

痴 愚

3251

痴 愚NOS
知能年齢3—7才の成人
知能指数20—49の小児

325.2

魯 鈍

3252

魯 鈍
知能年齢8—12才の成人
知能指数50—69の小児
アメンチア
精神高度欠陥

325.3

境 界 知 能 [Borderline intelligence]

3253

境 界 知 能
遅 退 児 [Backwardness]
知 能 薄 弱*

V 精神病、精神神経症及び人格異常

73

三 術 日 本 国 際
基本分類 四術分類 四術分類

製表
符号

製表
符号

又は嗜癡(耽溺症):
ール
デヒド
ボン
ボン
ム 剤
リン
イ エチルアセチル尿素
レリル尿素
イン
ドリン
イン
ヒネ
イン
麻酔、鎮痛、興奮、覚醒-
ムス

3240

的 疾 病 と 同 一 視 し

), エピロイア(Epiloia)、
(289)、水頭体(344, 752)、
青年進行麻痺(020, 1)を

3250

3251

3252

3253

325.4

蒙 古 症

蒙 古 (人) 症
モンゴリズム
モンゴリズムス

蒙古(人)型白痴

3254

325.5

その他及び不詳の型

家族性黒内障性白痴
テイ・ザックス(氏)病
フェニール焦性葡萄糖精神薄弱
精 神 薄 弱 NOS

Cerebromacular degeneration
精神發育不全

3255

326

その他及び分類不明の性格、行動、知能の異常

326.0

習学上の特殊欠陥

習学上の特殊欠陥
特殊性読書欠陥
特殊性数学欠陥

3260

[註] 本項は詳細不明又は非器質性の失読(症)[語盲症]を含む。

326.1

非器質性どもり及び構語不能 [Stammering and stuttering of nonorganic origin]

どもり又は構語不能:
NOS
非器質性と明示された

3261

[註] 本項は詳細不明又は非器質性の781.5の状態を含む。

326.2

その他の非器質性言語障害

326.1以外の言語障害:
NOS
非器質性と明示された

3262

[註] 本項は詳細不明又は非器質性の781.6の状態を含む。

326.3

急性境遇適応障害

急性境遇適応障害
異常興奮
闘争疲勞 [Combat fatigue]
操作疲勞 [Operational fatigue]

3263

326.4

その他及び詳細不明

単純性成人性適応障害
083, 310-318, 320-326.3に分類されない原発性の行動異常及び精神-
神経症性人格

3264

Ⅵ 神経系及び感覚器の疾患

中枢神経系の血管損傷 (330-334)

330-332 項及び334項の内容は脳出血等であるが高血圧症(444, 445, 447)又は、動脈硬化症(450)がこれと併せ記載された場合もここに含まれる。又、330-332項及び334項は発病後1箇年未満及び経過期間不明のものを含み、発病後1箇年以上経過したもの及びその後遺症又は続発症と記載されたものは352に含まれる。故に本分類における中枢神経系の血管損傷と旧分類における頭蓋内血管の損傷との数字の概略を比較する際は330-334の外、352を加えることを要する。なお、330-332項及び334項は出生時の損傷(760)、外傷(N850-N853)によると明示された頭蓋内損傷を含まない。

三 桁 日 本 国 際
基本分類 四 桁 分類 四 桁 分類

330

蜘蛛網膜下出血

出 血 :	膜	出 血 :	膜
髄 腦	網 膜 下	蜘蛛 網 膜 下	蜘蛛 網 膜 下
蜘蛛 網 膜 下		蜘蛛 網 膜 下	

[註] 本項は生後4週未満の蜘蛛網膜下出血(760)を含まない。又、経過1年以上及び後遺症又は続発症と記載されたもの(352)を含まない。

製表
符号
3300

331

脳 出 血

出 血 性 卒 中	頭 蓋 内 出 血
腦 血 管 破 裂 腫	頭 腦 橋 内 出 血
非 外 傷 性 硬 膜 下 血 腫	頭 腦 橋 内 出 血
腦 溢 血	頭 腦 橋 皮 質 下 出 血
腦 卒 中 血	頭 腦 橋 皮 質 下 出 血
腦 底 出 血	頭 腦 橋 皮 質 下 出 血
球 [延 髄] 出 血	頭 腦 橋 皮 質 下 出 血
小 腦 質 出 血	頭 腦 橋 皮 質 下 出 血
皮 質 出 血	頭 腦 橋 皮 質 下 出 血
内 囊 出 血	頭 腦 橋 皮 質 下 出 血
非 外 傷 性 硬 膜 外 出 血	頭 腦 橋 皮 質 下 出 血

[註] 本項は生後4週未満の脳出血(760)を含まない。又、経過1年以上及び後遺症又は続発症と記載されたもの(352)を含まない。

3310

332

脳塞栓症及び脳血栓症

小 腦 :	塞 栓 性 :
軟 化(症)	卒 中 性 :
塞 栓(症)	腦 卒 中 性 :
腦 壞 死	腦 卒 中 性 :
腦 脊 髓 軟 化(症)	腦 卒 中 性 :
頭 蓋 内 塞 栓	腦 卒 中 性 :

3320

340

VI 神経系及び感覚器の疾患

75

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

壊疽性脳軟化(症)
脳軟化(症)
脳塞栓性
卒脳
卒軟化

頭蓋内血栓(症)
脳血栓
脳エンボリー
脳トロンボゼ

[註]本項は経過1年以上及び後遺症又は続発症と記載されたもの(352)を含まない。

333

脳動脈痙攣

3330

脳動脈痙攣

334

その他及び診断名不適当の中樞神経系の血管損傷

3340

卒中性痙攣
卒中(性)
NOS
充血性
充発電撃性
脳(性)
動脈硬化(症)
動脈炎
動脈浮腫
動脈内膜炎
動脈半身不
動脈麻痺
動脈(四肢)麻痺
動脈不全麻痺

脳(性):
発作
閉塞性血栓性血管炎
脳血管:
変性[変質]
硬化[硬変]
高血圧性:
脳発作症
頭蓋内出血
頭蓋内性発作
Stroke NOS
脳動脈粉瘤
血洞[嚢]
脳洞
頭蓋内洞
頭蓋内静脈洞
非化膿性と明示されたもの

[註]本項は不詳の原因によるもの及び古い又は長期継続と明示された半身不随(352)並びに生後4週未満の脳浮腫又は脳麻痺(760)を含まない。又、経過1年以上及び後遺症又は続発症と記載された本内容のもの(352)も含まない。

中枢神経系の炎症性疾患 (340—345)

340

髄膜炎 (髄膜炎菌性及び結核性を除く)

3320

340.0

インフルエンザ菌性髄膜炎

3400

インフルエンザ性髄(脳)膜炎
インフルエンザ菌性髄膜炎
インフルエンザ菌又はインフルエンザ性と明示された 340.3 の各疾患

340.1

肺炎球菌性髄膜炎

3401

肺炎(双)球菌性髄(脳)膜炎
肺炎球菌による 340.3 の各疾患

(次頁に続く)

製表
符号

3300

3310

は、動脈硬化症

334項は発病後

及びその後遺

区神経系の血管

—334の外、352

外傷(N850—

膜下

経過1年以上及

：
痺
随
癱

年以上及び後遺

：
中
中
随
癱
)

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

三桁日本
基本分類四桁分類

340.2 その他の菌によるもの 3402

340.0—340.1に分類されないその他の細菌性原因による髄膜炎
340.0—340.1に分類されないその他の細菌性原因による340.3の
各疾患

340.3 詳細不明のもの 3403

蜘蛛膜炎(脳及び脊髄) 硬脳膜炎
脳脊髄膜炎 癒着性
軟脳膜炎 線維性
髄膜炎(脳又は脊髄)- 出血性
(非髄膜炎菌性) 肥厚性
伝染病後 脊髄
化膿性 梅毒性と明示されない髄膜炎
漿液性限局性

[註] 本項はリンパ性絨毛(膜)髄膜炎(082, 082. b, 0821)を含まない。

341 頭蓋内静脈洞の静脈炎及び血栓静脈炎 3410

塞栓性静脈内膜炎 海綿様洞(竇)、側静脈洞、その他の頭蓋内静脈
敗血症性化膿性静脈炎 洞及び頭蓋内と明示されない静脈洞のもの
血栓性静脈炎
血栓

[註] 本項は非化膿性(334)又は産褥性(651, 682)と明示された本内容の状態を含まない。

342 頭蓋内及び脊柱内膿瘍 3420

膿瘍： 膿瘍：
脳(各部位) 脊柱(内)
小脳 脊髄(各部位)
塞栓性(栓塞性)脳 脊髄硬(脳)膜外
硬膜外 硬(脳)膜下
頭蓋内 側頭楔状部(脳)

343 脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎(急性伝染性を除く) 3430

急性播種性脳脊髄炎 脳炎：
脳脊髄炎NOS NOS
炎症： 小児期の急性(小脳性)
脳NOS 耳性
脊髄NOS 伝染病後
脊髄炎： 外傷後
瀰漫性 不明の原因(特発性)
横断性 出血性
上行型： 亜急性
播種性脊髄炎
脊髄炎(急性)

[註] 本項は先行状態が判明している場合は一次死因の分類としては用いない。
又、先行状態が現存している場合も一次疾病の分類には用いない。
本項の病名は一次原因が判明している(死因分類)又は既存する(疾病分類)
場合は二次原因として符号する。又、本項は種痘後汎発性脳炎(E941, N997)
を含まない。

344

345

350

351

352

VI 神経系及び感覚器の疾患

77

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

製表
符号

3402

344

頭蓋内膿瘍又は化膿性感染の後遺症

3440

後天性水頭体〔脳水腫〕
脳膿瘍後の脳芽(瘤)
先天性と明示されない水頭体
水頭体 NOS
340-343の内容で後遺症又は続発症と明示されたもの、又は発病後
1年以上経過したもの

3403

345

多発硬化症

3450

播種状〔性〕硬化症
島嶼状硬化症
多発〔性〕連〔聯〕合性硬化症
多発〔性〕硬化症
脳脊
性
髄

その他の中枢神経系の疾患 (350-357)

3410

350

振顫麻痺

3500

振〔震〕顫麻痺
パーキンソン〔パルクソン〕症候群
パーキンソンニスム：
NOS
動脈硬化性
パーキンソン性てんかん〔癲癇〕
震動性中風

〔註〕本項は急性伝染性脳炎の後遺症(083.0)を含まない。

3420

351

脳性痙性小児麻痺

3510

脳性：
痙攣性小児対麻痺
小児麻痺
痙攣性小児麻痺
リットル(氏)病
孔脳症
痙攣性：
両側性麻痺 NOS
截癱 NOS
麻痺 NOS
両側麻痺
側麻痺
半身麻痺
四肢麻痺
出生時損傷による麻痺：
脳蓋内髄
小児又は先天性
(痙性)(脳性)
(脊髄性)

〔註〕本項は出生時の頭蓋内及び脊髄損傷のすべての後遺症を含むが、生後4週未満の頭蓋内及び脊髄の現在の出生時の損傷(760)を含まない。

3430

352

その他の脳性麻痺

3520

★脳出血等の1年以上経過したもの

脳出血 脳軟化 1年以上経過したもの
330-332及び334の各疾患

★脳出血等の後遺症と記載されたもの

脳出血 脳軟化 の後遺症又は続発症と記載されたもの
330-332及び334の各疾患

3521

★ 註：旧分類との比較の便を考慮して特に部内限りの製表符号を設けた。

(次頁に続く)

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

★その他

3522

対麻痺
両側麻痺
片側麻痺
麻痺
半身不遂
偏癱
截
パラブレギー
ヘミブレギー
老耄性麻痺
半身不遂後の舞蹈病

NOS(又は陳旧性又は長期継続のものではあるが原因は不詳として記載されたもの)

[註] 本項は化膿性頭蓋内損傷(344)、出生時の損傷(351)、頭蓋内損傷を伴う傷害(N853.9-N855.9)及び中毒(E961, N960.9-N979.9)による後遺症としての麻痺を含まない。

356

353

てんかん

[註] 本項はてんかんによる不慮の傷害の場合には一次原因として選んだてんかんを含むが、病巣てんかん及びジャックソン(氏)てんかん(780.3, 780.b, 7803)を含まない。

353.0

小発作

3530

てんかん〔癲癇〕小発作
特発性小発作(てんかん)
小てんかん

353.1

大発作

3531

てんかん〔癲癇〕大発作
特発性大発作(てんかん)
大てんかん

353.2

てんかん頻発状態

3532

てんかん〔癲癇〕頻発状態

353.3

その他及び詳細不明

3533

大、小の明示されないてんかん〔癲癇〕(特発性)
てんかん性:
無意識行動
大、小の明示されない痙攣又は発作
ピクノ・レブシー〔Pykno-epilepsy〕
エビレブシー

354

片頭痛

3540

片〔偏〕頭痛(各型、各部位)(特発性)

[註] 本項は頭痛NOS(791)を含まない。

355

その他の脳の疾患

3550

カタブレキシー〔Cataplexy〕

脳:
萎縮性疾
疾
ヘルニア
(精神病を伴わないもの)

脳皮質萎縮
肝(臓)レンズ核変性病
進行性レンズ核変性病
ウィルソン(氏)病
ハンチントン(氏)舞蹈病

★ 註: 旧分類との比較の便を考慮して特に部内限りの製表符号を設けた。

VI 神経系及び感覚器の疾患

79

三行 日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

製表
符号

3522

シルダー(氏)病
瀰漫性軸索周囲脳炎 (Encephalitis
peri-axialis diffuse)
脳 貧 血
多発性パラミオクロームス
多発性不定筋痙攣
首 下 り 病

遺伝性家族性(マリー(氏))-
運動失調症
ジェルリエー(氏)病 [Gerlier's
disease]
遺 伝 性 :
舞 踏 病
小 脳 性 失 調 症

356

運動神経元の疾患及び筋萎縮

356.0

進行性筋萎縮

3560

球 麻 痺 :
慢 行 性
進 行 性

進行性脊髄麻痺
進 行 性 筋 :
萎 縮
麻 痺

舌唇喉頭麻痺
舌唇咽頭麻痺
脊髄性筋萎縮(デュシェンヌ・アラン(氏)型)(進行性)(非進行性)

356.1

筋萎縮性側索硬化症

3561

筋萎縮性側索硬化症
筋萎縮性麻痺又は硬化
原発性側索硬化症

側 索 硬 化 症
脊 髄 側 索 硬 化 症
脊 髄 進 行 性 筋 萎 縮

356.2

筋萎縮の脊髄型

3562

筋萎縮(すべての):
遺伝性(家族性)脊髄性(ウェルドニッヒ・ホフマン(氏))と明示されたもの
神経性(neuropathic)(シャルコー・マリー・トース [Charcot-Marie-Tooth](腓骨型)(進行性)と明示されたもの
ウェルドニッヒ・ホフマン(氏)症候群

356.3

その他及び不明の症状

3563

原発性筋萎縮
その他及び詳細不明の運動神経元の疾患

[註] 本項は原因不明の筋萎縮(744.2)を含まない。

357

その他の脊髄の疾患

3570

ランドリー(氏)(上行性)麻痺
ランドリー(氏)病
フリードライヒ(氏)運動失調症
フリードライヒ(氏)病
脊髄出血(生後4週以上)
脊髄空洞症
延髄空洞症
横断性脊髄硬化症
ブラウン・セカール(氏)症候群
脊髄内出血 [Hæmatomyelia]

家族性運動失調症
上 行 性 :
麻痺(急性)(脊髄性)
脊髄硬化症 NOS
運 動 失 調 性 :
麻 痺 NOS
兩 側 麻 痺 NOS
脊 髄 麻 痺
脊 髄 病*

[註] 本項は生後4週未満の脊髄出血(760)を含まない。

3540

3550

ではあるが-

損傷を伴う傷
る後遺症と

んだてんか
3, (B)780. b,

3530

3531

3532

3533

病

製表 : ☆

神経及び末梢神経節の疾患 (360—369)

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

360

顔面神経麻痺

3600

ベル(氏)病又は麻痺(生後4週以上) 神経炎又は神経痛:
顔面神経[第7脳神経]疾患(生後4週以上) 第7脳
顔面神経麻痺(生後4週以上) 顔面
顔面神経節炎(屈曲部)

[註] 本項は生後4週未満の顔面神経麻痺(761)を含まない。

361

三叉神経痛

3610

神経炎又は神経痛:
第5脳
三叉顔面 ガッセル(氏)神経節炎
疼痛性チック

362

上腕神経炎

3620

神経炎又は神経痛:
上腕[肘] 腕神経痛
正腕 腕神経根炎
肩甲[肘] 中骨
尺甲 下骨

363

坐骨神経痛

3630

坐骨神経痛
坐骨神経炎
坐骨神経根炎

[註] 本項は椎間円板脱位による神経根炎、神経炎及び坐骨神経痛(735)を含まない。

364

多発神経炎及び多発神経根炎

3640

多発神経炎(急性)(伝染性)
多発神経根炎
急性伝染性多発性神経炎
ギラン・バレー(氏)症候群[Guillain-Barré syndrome]

[註] 本項はアルコール性多発神経炎(307,322)、ビタミン欠乏による多発神経炎(280,281,286.2, 286.6, 286.c, 286.7,)及び中毒による多発神経炎(E961, N96C.9—N979.9)を含まない。

365

赤色浮腫性多発神経炎

3650

赤[紅]色浮腫性多発神経炎
肢端疼痛症
バラ色[ピンク]病[Pink disease]
スウィフト(氏)病[Swift's disease]

三桁日本
基本分類四桁分類

366

367

368

369

VI 神経系及び感覚器の疾患

81

三 桁 日 本 国 際
基本分類 四 桁 分類 四 桁 分類

製表
符号

366

その他及び詳細不明の神経痛及び神経炎

3660

神経痛、神経炎、神経根炎：

NOS

前 脳 脚
舌 咽

脳NOS

第1脳又は嗅

第9脳又は舌咽

第10脳又は迷走(肺、胃)

第11脳又は副

第12脳又は舌下

その他(視、動眼、聴神経及び360-364に含まれたものを除く)

毒性(不詳の中毒によるもの)

肋間神経痛〔炎〕

足部神経痛

股神経痛

腸骨鼠径〔蹊〕神経痛

仙〔薦〕骨神経痛

〔註〕本項は妊娠による又は妊娠時の神経炎、神経痛、(Ⓔ642.5, Ⓔ642.c, Ⓔ6425)を含まない。

367

その他の脳神経の疾患

3670

第1脳又は嗅神経

第5脳又は三叉神経

第9脳又は舌咽神経

第10脳又は迷走神経

第11脳又は副神経

第12脳又は舌下神経

脳神経NOS

僧帽筋麻痺

の萎縮、変性又は麻痺

〔註〕本項は視神経、動眼神経(377, 379, 384, 388, 389)、聴神経(395-398)のすべての疾患及び神経の損傷(N950-N959)を含まない。

368

その他の末梢神経の疾患(自律神経を除く)

3680

血管 攣 縮

血 管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

管 攣 縮

〔註〕本項は生後4週未満の上腕神経叢麻痺及びその他の神経麻痺(761)を含まない。

369

末梢自律神経系の疾患

3690

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

血 管 攣 縮

〔註〕本項はレイノー(氏)病(453.0)を含まない。

369) 製表符号 3600 3610 3620 3630 3640 3650
神経炎又は神経痛: 第7脳面
ない。
氏)神経節炎
痛根炎
坐骨神経痛(735)を含まない
syndrome]
不足による多発神経炎
が中毒による多発神経炎

眼の炎症性疾患 (370-379)

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

三桁日本
基本分類四桁分類

370

結膜炎及び眼炎

製表
符号

3700

結膜炎 急性慢性
カタル(一)ル加答児性
紫外線 埃露染胞
曝感濾

結膜炎 フリクテン性
インフルエンザ性
コッホウィークス性
眼炎 紫外線性
カタル(一)ル性
電気性

[註] 本項は淋菌による結膜炎及び眼炎(033)、新生児眼炎及び生後4週未満の本内容のすべての状態(非淋菌性)(765)及びアレルギー性結膜炎(245)を含まない。

376

377

371

眼瞼炎

3710

背部眼瞼炎
眼瞼の炎症

379

372

麦粒腫(ものもらい)

3720

麦粒腫 眼瞼の疔瘡
ものもらい 眼瞼のよう[癰]
マイボーム(氏)腺の感染
眼瞼の膿瘍(疔)(よう)

373

虹彩炎

3730

虹彩炎 漿液性
化膿性
虹彩脈絡膜炎

380

374

角膜炎

3740

非梅毒性間質性角膜炎
角膜の炎症
角膜炎: 放射線性
水泡疱性
曝露による
角膜炎: 鬼眼性
神経麻痺性
フリクテン性
点状
非潰瘍性単純性

381

[註] 本項は伝染性角(膜)結膜炎(096.1)及びビタミンA欠乏症による角膜軟化症(①236.1, ②286.c, ③2861)を含まない。

375

脈絡膜炎

3750

脈絡膜炎: 播種性
前中心性(滴状性)(テイー[Tay](氏))
乳頭隣接(エンセン[Jensen](氏))
エンドムンド・エンセン(氏)病
脈絡膜の炎症

382

VI 神経系及び感覚器の疾患

83

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

製表
符号
3700

376

その他の葡萄膜の炎症

眼球内敗血症
脈絡膜網膜炎
毛様体炎
前房蓄膿
虹彩毛様体炎

虹彩毛様体脈絡膜炎
葡萄膜炎
全眼球炎
眼の膿瘍
その他の葡萄膜の炎症

3760

377

視神経及び網膜の炎症

視神経の炎症
球後視神経炎
視神経炎
眼の乳頭炎
網膜の炎症
網膜炎(色素(変)性を除く)

網膜炎:
出血による
敗血性
滲出性
中心性
血管痙攣性

3770

378

涙腺及び涙管の炎症

涙腺及び涙囊の膿瘍
涙線及び涙囊の疔[癰]
涙線及び涙囊のよう[癰]

涙囊炎
鼻涙管閉鎖症
鼻涙管狭窄症

3780

379

その他の眼の炎症性疾患

眼窩の膿瘍
眼窩の疔[癰]
眼窩のよう[癰]
眼窩蜂窠[窩]織炎

上鞏膜炎
鞏膜炎
交感性眼炎
その他の眼の炎症性疾患

3790

[註] 本項はトラコーマ(095)を含まない。

その他の眼の疾患及び状態 (380-389)

380

屈折異常

屈折異常(各型)
乱視(各型)(先天性)(複合性)
単性又は複性近視性乱視
単性又は複性遠視性乱視
遠視(眼)

軸性遠視
近視[眼]
軸性近視
仮[偽]性近視
老視[眼]

3800

381

角膜潰瘍

円板状
潰瘍性
樹枝状 } と明示された角膜炎

化膿性角膜炎
角膜潰瘍
潰瘍による角膜の穿孔

3810

382

角膜混濁

角混濁
白斑
斑翳

角白癆
膜斑痕

3820

性
ザ性
クス性
驗
性
性

及び生後4週未満の本
性結膜炎(245)を含ま

[癰]
[癰]

炎:
性
草性
ン性
状
純性

症による角膜軟化症

・エンセン(氏)病
症

三桁日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

製表
符号

383

翼状片

3830

翼状(贅)片
仮性翼状片

384

斜視

3840

斜視(潜在性)(すべての眼筋性) 共働(輻輳)性斜視
(各型) 内又は外 内又は外
内又は外斜視 上又は下
上又は下斜視 やぶにらみ*
潜在(伏)性斜視 眼筋麻痺 NOS
内又は外 第3脳又は動眼、第4脳、又は-
上又は下 滑車、第6脳又は外旋神経麻-
痺又は変性

385

白内障

3850

白内障(先天性以外のすべての型)
老人性白内障
しるそこひ*
放射線性白内障

[註] 本項は放射線による白内障を含むが糖尿病性白内障(260)及び先天性白内
障(753.0)を含まない。

386

網膜剥離

3860

網膜剥離

387

緑内障

3870

緑内障: 緑内障:
原発性 急性性
続発性 慢性性
うつ(閉)血性 あおそこひ*

388

その他の眼の疾患

3880

(単純性)視神経萎縮 網膜黄斑部変性
涙腺結石腫 網膜(下)出血
霰粒腫 脈絡膜剥離
コロボーム[欠損症] 水晶体偏位
色盲 水晶体脱臼
二色色盲 水晶体半脱臼
色弱 水晶体脱(出)
全調節障 角膜軟化 NOS
弱視 結膜出血
眼瞼外反症 結膜下出血
眼瞼内反症 結膜脂肪斑
眼窩内血腫 結膜緊張症
硝子体脱出 硝子体出血
硝子体下出血
硝子体(滯溜):
虹彩脱着
虹彩腫 NOS
葡萄球瘻着
膜囊
マイボーム(氏)腺
眼の

三桁日本国際
基本分類 四桁分類 四桁分類

389

390

391

VI 神経系及び感覚器の疾患

三 術 日 本 国 際
基本分類 四 術 分類 四 術 分類

製表
符号

製表
符号

3830

389

盲

〔註〕本項は先天性と思われる盲目を含むが屈折異常による視覚障害(380)を含まない。又、本項は先行状態が判明している場合は一次死因の分類としては用いない。又、本項は先行状態が現存する場合も一般に一次疾病の分類には用いない。
盲目とは厳密にいうと、保護金給与の目的をもつて各国で普通用いられている定義によれば、最良の矯正眼鏡をもつてしても中心視度が $\frac{1}{60}$ ($\frac{20}{200}$)及びそれ以下のもの又は最広視界が20度以下の視覚距離にしか達しない視覚欠陥の意味である。
但しここで使用されているように厳密に定義されない盲目とは、視力が不可欠のあらゆる仕事、産業又はその他を遂行出来ない、いわゆる経済的盲目を含む。

3840

3850

3850

3860

3860

3870

3880

3890

3890

3890

389.0

厳密な意味の両眼盲

両眼黒内障(先天性)(後天性)
盲(先天性)(後天性):
両眼
おかされた眼について記載
のない
完全失明(先天性)(後天性)

厳密な意味のもの

389.1

厳密な意味でない両眼盲

両眼黒内障(先天性)(後天性)
盲(先天性)(後天性):
NOS
両眼
おかされた眼について記載
のない

厳密な意味でないもの

389.2

厳密な意味の片眼盲

片眼黒内障(先天性)(後天性)
片眼盲(先天性)(後天性)
片眼完全失明(先天性)(後天性)

厳密な意味のもの

389.3

厳密な意味でない片眼盲

片眼黒内障(先天性)(後天性)
片眼盲(先天性)(後天性)
片眼完全失明(先天性)(後天性)

厳密な意味でないもの

耳及び乳様突起の疾患 (390-398)

390

外 耳 炎

外耳(聴)道膿瘍
外 耳 炎
耳 癰

外耳の炎症性疾患
外耳道のカリエス

391

中耳炎(乳様突起炎の記載のないもの)

391.0

急 性

耳の膿瘍(中耳)
鼓 膜 炎
中 耳 炎
耳カタ(-)ル[加答児]
鼓 室 炎
耳 の 化 膿 炎
全 耳 炎

急性(乳様突起炎の記載のないもの)

(次頁に続く)

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

製表
符号

391	391.1	慢性 中耳炎 中耳カタ(一)ル〔加児答〕 耳漏*	慢性(乳様突起炎の記載のないもの)	3911
	391.2	急性、慢性の別不明 中耳炎NOS 中耳炎 耳漏*	急性、慢性の別不明(乳様突起炎の記載のないもの)	3912
392	中耳炎(乳様突起炎を伴うもの)			
	〔註〕中耳炎の詳細分類は391、乳様突起炎の詳細分類は393を参照のこと。			
	392.0	急性 急性又は急性、慢性の別不明の乳様〔嘴〕突起炎を伴う急性中耳炎 急性乳様突起炎を伴う急性、慢性の別不明の中耳炎		3920
	392.1	慢性 慢性又は急性、慢性の別不明の乳様〔嘴〕突起炎を伴う慢性中耳炎 慢性乳様突起炎を伴う急性、慢性の別不明の中耳炎		3921
	392.2	急性、慢性の別不明 急性、慢性の別不明の乳様〔嘴〕突起炎を伴う急性、慢性の別不明の中耳炎		3922
393	乳様突起炎(中耳炎の記載のないもの)			
	393.0	急性 乳様〔嘴〕突起洞〔竇〕膿瘍 乳様突起蓄膿 乳様突起炎 乳様突起洞炎 側頭〔顳〕岩様部骨炎 岩様骨炎 乳様突起疾患	急性(中耳炎の記載のないもの)	3930
	393.1	慢性 乳様〔嘴〕突起疾患 乳様突起炎 乳様突起カリエス 乳様突起壊死	慢性(中耳炎の記載のないもの)	3931
	393.2	急性、慢性の別不明 乳様〔嘴〕突起炎 乳様突起疾患	急性、慢性の別不明(中耳炎の記載のないもの)	3932
394	その他の耳の炎症性疾患			
		迷路炎 オイスタキ-〔エウスタキ-〕〔氏〕管炎 咽頭耳管炎 耳管〔欧氏管〕炎 迷路の化膿	原因不明の耳痛 カリエス: 迷路 側頭骨岩様部 内耳炎	3940

三桁日本
基本分類四桁分類四

395

396

397

398

★ 註: 397, 398
存している

VI 神経系及び感覚器の疾患

87

三桁日本国際
基本分類四桁分類四桁分類

患部の系器類節 II
メニエール病

耳性眩暈
メニエ(-)ル病又は眩暈
メニエ(-)ル(氏)症候群
迷路性眩暈

その他の耳及び乳様突起の疾患

真珠腫(耳)(反応を伴う) 聴神経変性
耳軟骨膜炎 耳(骨性)の壊死(無菌性)
耳硬化症(広汎性) 耳、耳殻及び390-395に分類
欧氏管カタ(-)ル[加答見]及び狭窄 されない乳様突起の疾患
欧氏管疾患
鼓膜の疾患

聾 啞★

聾啞(先天性)(後天性) おしつんぼ

その他の聾★

[註] 本項は先天性及び後天性の下記の状態を含むがヒステリー(精神神経症)によると明示された状態(311)を含まない。

398.0 両耳の聾

完全全聾
完全聴覚消失 両耳
神経全聾

398.1 片耳聾、片耳一部聾

他側の(聾NOS 聴覚不良 一部聾 つんぼ*) を伴う片耳の(完全全聾 完全聴覚消失 神経聾)

398.2 片耳聾

完全全聾 他側の聴覚欠損を伴わないもの
完全聴覚消失 神経聾

398.3 聴覚不良(片耳又は両耳)

聾NOS 聴覚不良 一侧又は両側及び別不明
一部聾 つんぼ*

★ 註： 397, 398項は先行状態が判明している場合は一次死因の分類としては用いない。又、一般に先行状態が現存している場合も一次疾病の分類には用いない。

製表
符号

3911

3912

3920

3921

3922

3930

3931

3932

3940

製表
符号

3950

3960

3970

3980

3981

3982

3983

201

のないもの)

の記載のないもの)

参照のこと。

う急性中耳炎

う慢性中耳炎

慢性の別不明の

のもの)

のないもの)

耳痛
ス:
路
岩様部